



## 取扱説明書(応用編)

# ネットワークレコーダ INR-1208P INR-1216P



ご使用前に本取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。



# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
1.1	取扱説明書（応用編）について	1
1.2	商標と登録商標について	1
<b>2</b>	<b>起動と終了</b>	<b>2</b>
2.1	起動	2
2.2	終了	2
<b>3</b>	<b>ライブ画面</b>	<b>3</b>
3.1	ライブ画面	3
3.2	ログイン	3
3.2.1	パスワードによるログイン	3
3.2.2	パターンによるログイン	3
3.3	スタートボタン	5
3.3.1	検索とバックアップ	6
3.3.2	再生	13
3.4	メニューバー	17
3.5	カメラ映像表示	19
3.6	カメラ映像メニュー	22
3.7	右クリックメニュー	25
3.7.1	PTZ 制御画面	27
<b>4</b>	<b>設定</b>	<b>29</b>
4.1	カメラ	29
4.1.1	カメラ管理	29
4.1.2	画像設定	36
4.1.3	動体検知	41
4.1.4	PTZ	43
4.2	録画	45
4.2.1	録画	45
4.2.2	画質設定	50
4.2.3	録画状態	53
4.3	検知/アラーム	54
4.3.1	イベント通知	54
4.3.2	一般イベント	58
4.3.3	アラーム状態	69
4.4	HDD	71
4.4.1	HDD 管理	71

4.4.2	記録モード	72
4.4.3	情報	74
4.5	ネットワーク	76
4.5.1	ネットワーク	76
4.5.2	ストリーム設定	84
4.5.3	ネットワーク状態	86
4.6	ユーザー権限	88
4.6.1	ユーザー	88
4.6.2	セキュリティ	94
4.6.3	ユーザー状態	99
4.7	システム	100
4.7.1	一般	100
4.7.2	メンテナンス	110
4.7.3	情報	118
5	デバイスメンテナンス	124
5.1	システム情報	124
5.2	アップグレード	125
5.3	初期化	127
5.4	ログアウト/終了/再起動	128



# 1 はじめに

## 1.1 取扱説明書（応用編）について

本書は、INR-1208P/INR-1216P を設定する方法について説明します。本ネットワークレコーダは、下記のネットワークカメラに接続し、ライブ映像の表示やデータの記録を行います。

- IPD-BX250                   (ボックス型フル HD ネットワークカメラ)
- IPD-BL250                   (バレット型フル HD ネットワークカメラ)
- IPD-VR250                   (バンダルレジストドーム型フル HD ネットワークカメラ)

設置、および、導入につきましてはネットワークレコーダ付属の取扱説明書導入編をご覧ください。PDF ファイルの閲覧には Adobe Reader 日本語版が必要です。アドビシステムズ社の Web サイトから最新版をダウンロードして、インストールしてください。

## 1.2 商標と登録商標について

- Microsoft、Windows、Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe Reader は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 2 起動と終了

### 2.1 起動

下記の手順に従って、本機を起動してください。

- 本体背面の電源スイッチが OFF であることを確認し、電源ケーブルを接続してください。
- 本機にモニターとマウスを接続してください。
- 本機に記録するネットワークカメラを接続してください。
- 背面パネルの電源ボタンを ON にし、本機を起動します。

起動する前に、以下の点に注意してください。

- 定格入力電圧が、仕様と一致していることを確認してください。
- 電源の接続が正しいことを確認し、電源スイッチを ON にしてください。
- 常時安定した電流を使用し、必要な場合は UPS を代替手段として使用してください。

### 2.2 終了

- マウス操作にてスタートメニューから **終了** をクリックします。
- シャットダウンウィンドウが表示されますので **終了** にチェックを入れて **OK** をクリックしてください。
- シャットダウンモードになり、しばらくして本機の電源が落ちます。

注意



●本機が動作している場合（特に録画時）、電源ケーブルを抜く、背面の電源スイッチを OFF するなどして、本機を強制的に停止しないでください。

※これらの操作は、機器の故障の原因となります。

## 3 ライブ画面

### 3.1 ライブ画面

起動すると、ライブ画面が表示されます。



図 3-1

### 3.2 ログイン

起動後もしくはログインしてから一定時間経過すると、システムログイン画面が表示され、ログイン処理が必要となります。本機は、標準で1つのアカウントを準備しています。

#### 3.2.1 パスワードによるログイン

初期設定のパスワードは、下表を参照してください。

ユーザー名	パスワード	説明
admin	admin123	管理者、ローカル、ネットワーク

#### 3.2.2 パターンによるログイン

初回起動時のセットアップウィザードでパターンによるログインを有効にすると、パターンロックの解除でログインすることができます。

なお、パターンロック画面の「ログインモード変更」から、パスワードロック画面に切り替えることもできます。必要に応じて切り替えてログインしてください。

初期設定のパターンは、図 3-2 を参照してください。

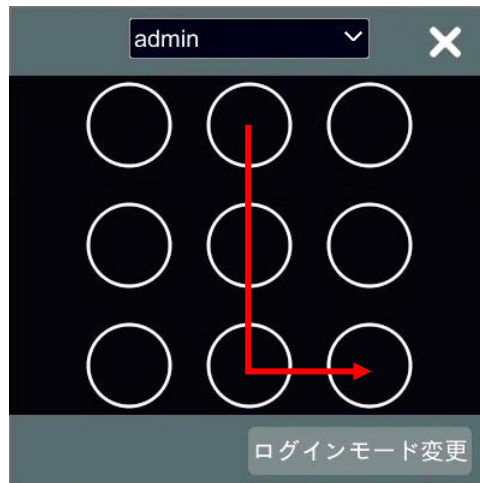


図 3-2

注意



- セキュリティ上の理由から、  
初回ログインの後はパスワードを変更することをお勧めします。
- 30 分以内に 3 回ログインに失敗すると、システムエラーとなります。  
また、5 回連続で失敗するとアカウントがロックされます。
- アカウントがロックした場合、30 分後にロックが解除されますので、  
その後、もう一度操作をしてください。

### 3.3 スタートボタン

画面左下のボタンがスタートボタンです。クリックすると、スタートメニューが開きます。

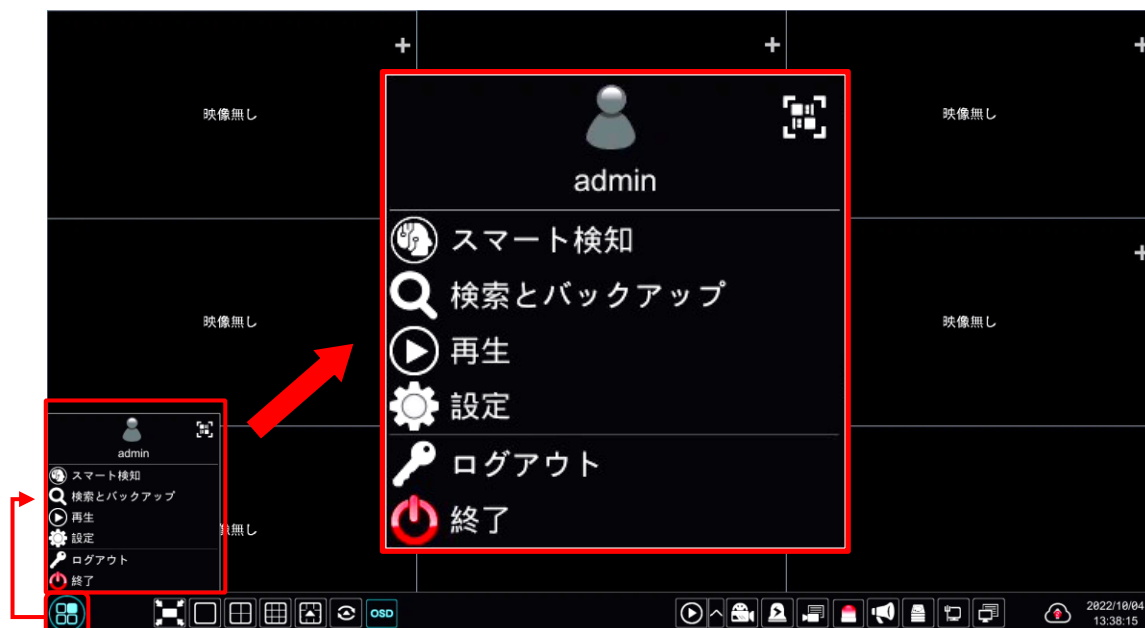










図 3-3

ボタン	説明
 admin	現在ログインしているユーザー名が表示されます。
	※本機能はサポート対象外です。 デバイス追加用コードが表示されます。 QR コードをスキャンしてデバイスを追加します。
 スマート検知	※本機能はサポート対象外です。 インテリジェント分析メニューに移動します。
 検索とバックアップ	録画の検索とバックアップメニューに進みます。 詳細は、3.3.1 検索とバックアップ をご参照ください。
 再生	再生メニューに進みます。 詳細は、3.3.2 再生 をご参照ください。
 設定	機能設定パネルが表示されます。 各設定の詳細は、4 設定 をご参照ください。
 ログアウト	システムからログアウトします。
 終了	ポップアップウィンドウが表示され、ログアウト、システムの再起動、システムの終了から選択することができます。 詳細は 5.4 ログアウト/終了/再起動 をご参照ください。

### 3.3.1 検索とバックアップ

#### 3.3.1.1 手動録画

録画データを検索します。

カメラまたは時間順のリストが表示されます。カメラ順は、カメラ名でソートされた状態です(図 3-4)。時間順は、時間でソートされた状態です(図 3-5)。ソート方法の変更は、右上の並び替えプルダウンメニューから行ってください。

希望するカメラ名または時間帯のサムネイルを選択します。目的のサムネイルをダブルクリックまたは画面右下「開く」をクリックすると、日付のサムネイル一覧へ遷移します。カメラ表示の場合、年月の選択から、日付の選択、時刻の選択、分選択と選択していきます。時間表示の場合は、時刻の選択へ遷移します。いずれも、選択を変更する際は、左上のパンくずリストからお戻りいただき、再選択をしてください(図 3-6)。

サムネイルをクリックまたは画面下部「再生」をクリックすると、再生インターフェースが開き、記録が再生されます。再生インターフェースについては、3.3.2 再生 をご参照ください。

なお、時間表示の場合は、サムネイルが最大 64 件まで表示され、これを超えるとサムネイルではなくカメラ名が直接表示されます。カメラ名は最大 196 件まで表示され、これを超えると時刻表示モードは無効となり、カメラ表示モードのみが有効となります。

画面上部のタイムスケール上をドラッグして選択し、画面下部「バックアップ」をクリックすると、バックアップ用ダイアログがポップアップされ、録画データのバックアップが可能になります。

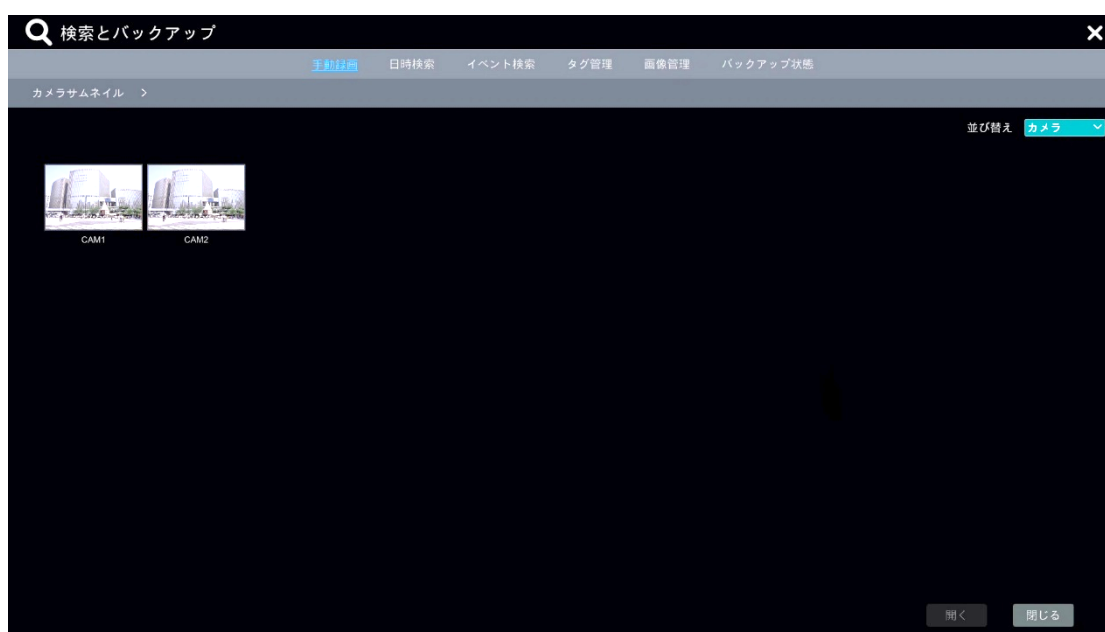


図 3-4

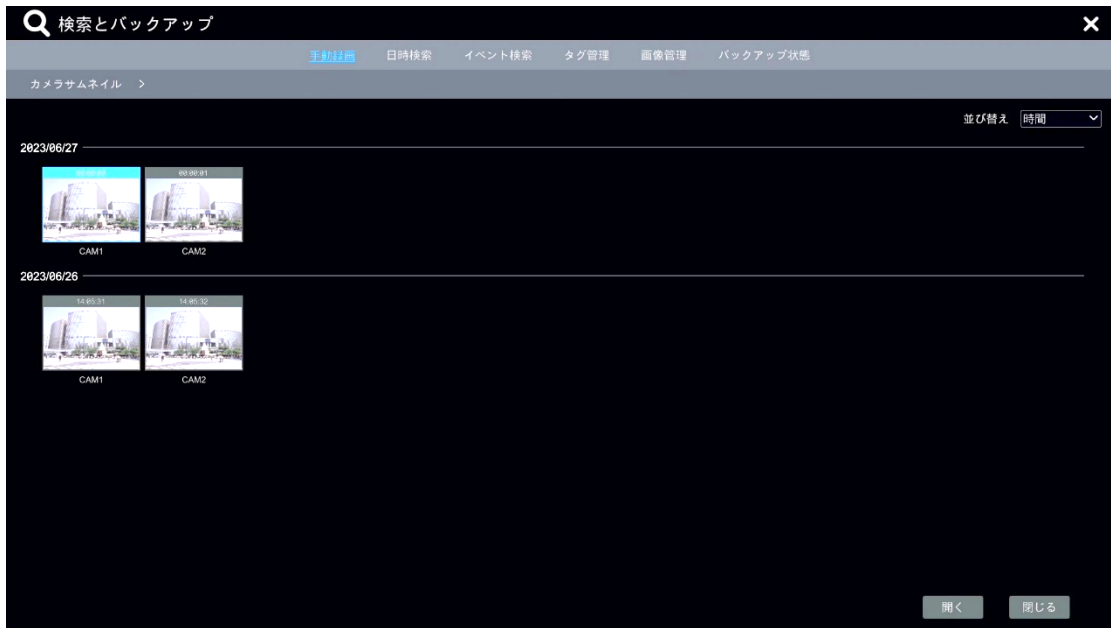


図 3-5



図 3-6

### 3.3.1.2 日時検索

カメラ画像ゾーンの $\oplus$  (図中①)をクリックすると、再生用カメラを選択することができます。再生用カメラは最大 16 台まで設定可能です。カメラを変更する、または削除する場合は、各カメラ映像上の「変更」および「クリア」をクリックします。

カメラ映像をクリックすると、画面左側の再生ボックスで録画が再生されます。画面左上のカレンダーから日付を選択し、イベントの種類を確認したうえでタイムスケールをクリック、または再生時間を設定します(図中②)。カメラ映像は、設定した時刻とイベントタイプに従って記録が再生されます。タイムスケール上のカラーブロックをドラッグして記録データを選択、または画面左下「バックアップ時間設定」をクリックしてバックアップの開始時間と終了時間を設定し、「バックアップ」をクリックすると録画データを外部メモリにバックアップが可能になります。

なお、「再生」をクリックすると、再生インターフェースが開き、記録が再生されます。再生インターフェースについては、3.3.2 再生 をご参照ください。



図 3-7



### 3.3.1.3 イベント検索

画面上部のイベント欄にて、検索するイベントの種類を確認します。次に、検索する期間を画面左の時刻設定より選択してください。同じく画面左のカメラリストの任意のカメラにチェックを入れて検索するカメラを選択してください。画面下部 **検索** をクリックすると、設定した条件で検索を行います。

検索結果をリストから選んで、**再生** をクリックすると、再生画面がポップアップし、内容を確認することができます。


1 件以上のカメラ映像を選択して **バックアップ** をクリックすると、当該カメラ映像をバックアップします。



図 3-8

### 3.3.1.4 タグ管理

録画データに対してタグを追加したことがある場合、タグ検索を行うことができます。

タグを追加するには、「スタートメニュー」から「再生」に移動し、タグを追加したいシーンで左クリックしてを選択、または右クリックメニューからタグを追加します。再生インターフェースについては、3.3.2 再生 をご参照ください。




タグをもとに再生するデータを選択し、をクリックすると再生されます。をクリックするとタグの名称を編集できます。また、をクリックするとタグを削除します。





図 3-9

### 3.3.1.5 画像管理

ここでは、スナップされたすべての画像がリストに表示されます。

をクリックすると、ウィンドウがポップアップし、画像を確認することができます(図 3-11)。

をクリックすると、画像がエクスポートされます。をクリックすると、当該行の画像が削除されます。



<input type="checkbox"/>	No.	カメラ名	撮影モード	撮影時間	ユーザー	ブラウザ	出力	削除
<input type="checkbox"/>	1	CAM2	手動	2023/06/26 15:08:58	admin			
<input type="checkbox"/>	2	CAM1	手動	2023/06/26 15:08:53	admin			

図 3-10



図 3-11

### 3.3.1.6 バックアップ状態

バックアップを選択した録画データのバックアップ状況を一覧で確認することができます。


No.	時間帯	期間	データ容量	パス	ユーザー	進捗	詳細	操作	削除
1	2022/05/03 10:58:51-2022/05/03 13:24:20	2時 25分	2.10GB	/mnt/u/ExternalStorag...	admin	100%	📄	完了	削除

図 3-12



### 3.3.2 再生

#### 3.3.2.1 再生インターフェース

再生インターフェースの右側のエリア①には、チャンネル番号と録画データが色分けされて表示されます。色分けされたリボン状のデータを横切るバーは、再生中の箇所を示しています。リボンの任意の箇所をドラッグして選択し、右クリックして表示されるウインドウから、選択した任意の箇所のみバックアップを取ることができます。

接続されているカメラは、再生インターフェースに切り替えると自動的に再生を始めます。をクリックすると、再生するカメラを手動で追加することもできます。同時に再生できるカメラは、最大16台です。

エリア②では、再生する映像データの日時の設定とイベントのモード選択が可能です。

日時の設定をするには、をクリックして日付を、をクリックして時間をそれぞれ設定します。設定した日時の映像を再生します。


また、再生する映像データのイベントモードをリボンの色から確認することができます。エリア③のツールバーの停止ボタンをクリックして、イベントモードの種類を選択します。各イベントのチェックボックスの有効/無効を切り替え、またはをクリックして別のイベントモードのセットに切り替えるなどして、任意のイベントモードを選択してください(図 3-14)。その後、再生するカメラを追加して確認してください。なお、イベントモードは再生中も切り替え操作ができますが、一度停止してからもう一度再生した際にモードが切り替わりますので、ご注意ください。**※各イベントモードは、機種によりサポートされていない場合がありますので、都度ご確認ください。**




図 3-13



図 3-14

項目	説明
エリア③	
	スタートボタンです。 スタートメニュー(エリア④)を開きます。
	全画面ボタンです。 クリックすると、カメラ映像を全画面表示します。もう一度クリックすると全画面表示を終了します。
	OSD のオン/オフを切り替えます。
	画面の分割表示を切り替えます。 1/4/9/16 画面表示から選択可能です。1 画面表示のときに再度クリックすると、現在のチャンネルから次のチャンネルの再生に移行します。
	クリックすると、チャンネル選択ウィンドウがポップアップします。 ウィンドウから再生するチャンネルを選択します。
	停止ボタンです。 映像の再生を停止します。
	逆再生ボタンです。 映像を逆再生します。
	一時停止ボタンです。 映像を一時停止します。
	減速ボタンです。 映像の再生を減速します。
	加速ボタンです。 映像の再生を加速します。
	映像を減速または加速しているとき、等速に戻します。

項目	説明
 前フレーム	前フレームボタンです。 1 画面状態で一時停止をしているときに機能します。
 次フレーム	次フレームボタンです。 1 画面状態で一時停止をしているときに機能します。
 - 30秒前 + 30秒後	映像を 30 秒前/30 秒後にスキップします。
 X1	現在の映像の再生状態を表示します。
 スマート再生	<b>※本機能はサポート対象外です。</b> スマート再生インターフェースに移行します。
 イベント/タグ	イベント/タグのビューを開きます。 クリックすると、イベント記録をタグ情報が表示されます。
 透かし表示	透かし表示ボタンです。 透かし表示のオン/オフを切り替えます。
 POS	POS ボタンです。 POS の表示/非表示を切り替えます。
 バックアップ	バックアップボタンです。 建材のバックアップ状況と、バックアップの実行を行います。
 次	クリックすると再生インターフェースを終了します。
エリア④	
 スマート検知	<b>※本機能はサポート対象外です。</b> スマート検知インターフェースに移行します。
 検索とバックアップ	検索とバックアップインターフェースに移行します。 詳細は、3.3.1 検索とバックアップ をご参照ください。
 ライブ画面	ライブ画面に戻ります。
エリア⑤	
 移動ツール	移動ツールです。 クリック & ドラッグでメニューバーを任意の場所に移動できます。
 音声	音声を有効にします。 クリックすると、カメラ映像の音声を聴くことができます。
 カメラ	カメラ映像をキャプチャして保存します。 クリックすると手動静止画撮影ダイアログがポップアップします。
 ズーム	当該カメラ映像の 1 画面に切り替わり、映像のズームを行います。
 タグ	クリックするとタグを追加できます。 クリックし、ポップアップウィンドウにタグ名を入力して、 <b>追加</b> をクリックすると、タグが追加されます。
 カメラ	クリックすると、再生カメラを切り替えることができます。 クリックし、ポップアップウィンドウでカメラを選択してください。

項目	説明
	再生中のカメラ映像を終了します。
右クリックメニュー	
音声有効	カメラの音声を有効にします。 カメラの音声が無効になっているあいだ、この項目は「音声無効」になります。
元の比率	画面に合わせたワイド表示をやめ、カメラのもともとの比率で映像を表示します。 元の比率にしているあいだ、この項目は「ワイド表示」になります。
静止画撮影	項目をクリックした瞬間を撮影し、保存します。 専用ダイアログがポップアップしますので、適宜保存先等を選択してください。
ズームイン	ズームイン画面に移行します。 右下のナビゲータを操作して、任意の箇所をズームします。
タグ追加	クリックするとタグを追加できます。 クリックし、ポップアップウィンドウにタグ名を入力して、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追加</span> をクリックすると、タグが追加されます。
カメラ切替	クリックすると、再生カメラを切り替えることができます。 クリックし、ポップアップウィンドウでカメラを選択してください。
カメラ終了	再生中のカメラ映像を終了します。





### 3.4 メニューバー

メニューバーが表示されていない場合、マウスカーソルを画面下に移動すると、メニューバーが表示されます。



図 3-12

ボタン	説明
	スタートボタンです。 このボタンをクリックすると、スタートメニューがポップアップします。 詳細は 3.3 スタートボタン をご参照ください。
	フルスクリーンボタンです。 全画面にプレビューインターフェースを表示します。再度クリックすると終了します。
	画面分割ボタンです。 使用機種の対応する画面分割表示によって、ボタンの表示が変わります。
	ジャンプボタンです。
	このボタンが ON になっている場合、OSD が表示されます。OFF にすると OSD が非表示になります。
	インスタントリプレイを実行、またはリプレイインターフェースへ進むとき、  をクリックしてプリセットリプレイ時間帯を設定します。  をクリックしてリプレイインターフェースに進みます。 例えば、プリセットリプレイ時間帯で「5 分前」を選択した場合

ボタン	説明
	合、5 分前からリプレイされます。 設定値：5 秒前, 10 秒前, 30 秒前, 1 分前, 5 分前
	手動録画ボタンです。 手動録画の ON/OFF を切り替えることができます。
	手動アラームボタンです。 ポップアップウィンドウに表示されるアラーム出力を手動でトリガー、またはクリアすることができます。
	録画ステータスボタンです。 各チャンネルの録画状態を表示します。
	アラームステータスボタンです。 NVR のアラーム状態を表示します。
	HDD ステータスボタンです。 NVR のハードドライブ情報を表示します。
	ネットワークステータスボタンです。 NVR のネットワーク情報を表示します。
	システムメッセージボタンです。 デバイスの基本情報やチャンネルの状態などを表示します。
	クリックすると、クラウドのアップグレードの有効/無効を設定できます。

### 3.5 カメラ映像表示

マウスカーソルを画面右に移動すると現れるエリアでは、映像を表示するカメラの設定、カメラグループや表示モードの設定ができます。

- カメラ

接続されているカメラが一覧で表示されます。



図 3-15

- カメラグループのループ表示

カメラグループをカメラ映像として設定するほか、作成や編集、削除を行うことができます。

**+** をクリックすると、グループ追加ダイアログがポップアップし、新規でカメラグループを作成できます(図 3-17)。**✎** をクリックすると、カメラグループリストで選択しているカメラグループの名称と遷移時間を編集できます(図 3-18)。**🗑** をクリックすると、作成したカメラグループを削除します。

同様の設定は、カメラ管理からも行うことができます。詳細は、4.1.1.3 カメラグループ設定 をご参照ください。



図 3-16



図 3-17

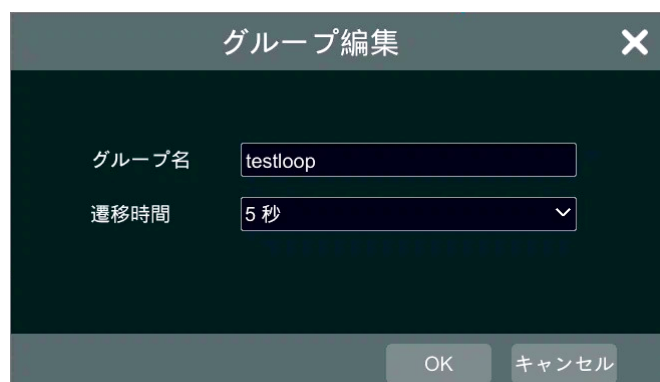


図 3-18

- カスタム表示変更

作成済みの表示モードを適用、または表示モードを新規作成します。

⊕をクリックすると、表示モードを追加ダイアログがポップアップし、新規の表示モードを作成することができます(図 3-20)。作成した表示モード名がリストに表示されるので、直接カメラ映像を適宜ドラッグして任意の画面構成を作成したら、🖼️をクリックして、表示モードを上書き保存します。これにより、次回に表示モードを選択した際、上書き保存したときの画面構成でライブ画面が構築されます。📄をクリックすると、選択中の表示モードの名称を変更することができます。🗑️をクリックすると、選択中の表示モードを削除します。



図 3-19



図 3-20

### 3.6 カメラ映像メニュー

このメニューは、任意のカメラ映像をクリックすると、カメラ映像下部に表示されます。



図 3-21

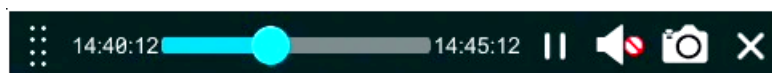


図 3-22



図 3-23



図 3-24





図 3-25

項目	説明
	移動ツールです。 クリック&ドラッグでメニューバーを任意の場所に移動できます。
	クリックすると赤く点灯し、録画を開始します。
	インスタント再生を行います。 クリックするとメニューがインスタント再生用のものになり、すぐに映像の再生を行うことができます(図 3-22)。
	音声を有効にします。 クリックすると、カメラ映像の音声を聴くことができます。
	カメラ映像をキャプチャして保存します。 クリックすると手動静止画撮影ダイアログがポップアップします(図 3-23)。
	PTZ 制御を行います。 クリックすると PTZ 制御ダイアログがポップアップします(図 3-24)。
	当該カメラ映像の 1 画面に切り替わり、映像のズームを行います。
	画像調整画面へ移動します(図 3-25)。 調整するカメラを選択し、画像調整およびレンズ制御を行います。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">初期値</span> をクリックすると、値はすべて初期のものに戻ります。
	クリックすると、マイクおよびカメラのスピーカーを通じて音声を発信することができます。
	カメラ情報を表示します。





### 3.7 右クリックメニュー

カメラ映像を右クリックすると、右クリックメニューが表示されます(図 3-26)。

ループ中のカメラ映像を右クリックすると、ループ専用の右クリックメニューが表示されます(図 3-27)。

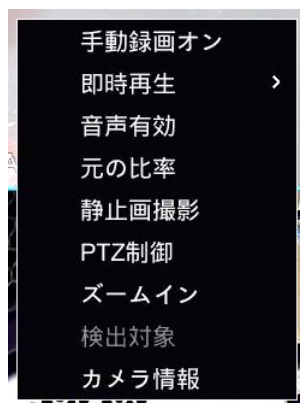


図 3-26

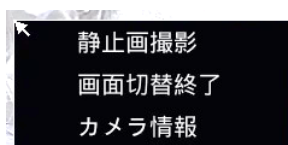


図 3-27

項目	説明
カメラ映像右クリックメニュー	
手動録画オン	手動録画を行います。 手動録画が行われているあいだ、この項目は「手動録画オフ」になります。
即時再生	指定時間を遡って今すぐ再生を行います。 設定値：5 秒前, 10 秒前, 30 秒前, 1 分前, 5 分前, カスタマイズ
音声有効	カメラの音声を有効にします。 カメラの音声が有効になっているあいだ、この項目は「音声無効」になります。
元の比率	画面に合わせたワイド表示をやめ、カメラのもともとの比率で映像を表示します。 元の比率にしているあいだ、この項目は「ワイド表示」になります。
静止画撮影	項目をクリックした瞬間を撮影し、保存します。 専用ダイアログがポップアップしますので、適宜保存先等を選択してください。
PTZ 制御	PTZ 制御画面に移行します。 PTZ コントロールパネルやプリセットなどを用いてカメラを制御します。 詳細な操作方法は、3.7.1 PTZ 制御画面 をご参照ください。

項目	説明
ズームイン	ズームイン画面に移行します。 右下のナビゲータを操作して、任意の箇所をズームします。
検出対象	使用できません。
カメラ情報	カメラのストリーム情報をはじめとした詳細な情報を表示します。
カメラループ右クリックメニュー	
静止画撮影	項目をクリックした瞬間を撮影し、保存します。 専用ダイアログがポップアップしますので、適宜保存先等を選択してください。
画面切替終了	ループを終了し、カメラ映像が表示されなくなります。
カメラ情報	カメラのストリーム情報をはじめとした詳細な情報を表示します。

### 3.7.1 PTZ 制御画面

エリア①のプルダウンメニューから、PTZ 制御を行うカメラを選択します。

エリア②の◀ ▶で、プリセットの設定か、ツアーの設定かを切り替えます。プリセットの場合は、追加、削除、位置保存が選択でき、ツアーの場合は追加、削除のみ選択できます。



エリア③とエリア④が主なコントローラになります。各機能は下表をご参照ください。

なお、映像内の任意の箇所をクリックすると、クリックしたポイントが中央になるように調整されます。また、映像内でマウスをドラッグすると緑色の四角形が描画され、その領域をズームします。



図 3-28

項目	説明
エリア③	
	矢印の方向にドームを回転させます。 ■をクリックすると、ドームの回転が停止します。
	ズームイン、ズームアウトを行います。
	焦点距離の増減を行います。
	ドームのアイリスの拡大、縮小を行います。
	ドームの回転速度を調整します。
	映像の録画と録画停止を行います。 録画中はアイコンが赤くなります。
	ジョイスティックの表示、非表示を切り替えます。 非表示中はアイコンが水色になります。

項目	説明
	ライブ画面に戻ります。
エリア④	
	<p>ジョイスティックです。</p> <p>エリア③にて、ジョイスティックが表示される設定のときに表示されます。</p> <p>アイコンをクリックで掴んでドラッグすると、その方向にドームが回転します。離れた場所までドラッグするほど、回転速度が上がります。ドラッグをやめると回転が停止します。</p>

## 4 設定

スタートボタンから「設定」をクリックすると、設定メニューが開きます。  
各項目の操作について記載します。



図 4-1

### 4.1 カメラ

#### 4.1.1 カメラ管理

ここでは、新しいカメラやレコーダーの接続を追加および編集をします。  
また、複数のカメラのグループ化や、IP 状況の確認もこちらで行います。

##### 4.1.1.1 カメラ追加

カメラ追加をクリックすると、カメラ追加ダイアログがポップアップします。

- 簡単追加

自動で認識されたカメラを選択して追加します。

リストに表示されたカメラから、追加するカメラを選択して **追加** をクリックしてください。

リストに任意のカメラが表示されない場合、右上の **再読込** のクリックをお試しください。



図 4-2

### ● 手動追加

手動でカメラ情報を入力して追加します。

カメラ情報入力後、**追加**をクリックしてください。



図 4-3

- レコーダーの追加

リストに表示されたレコーダーから、追加するレコーダーを選択して **追加** をクリックしてください。

リストに任意のレコーダーが表示されない場合、 **再読込** のクリックをお試しください。

なお、レコーダー情報を手動で入力して追加する場合は、 **手動追加** をクリックしてレコーダー情報を入力し、追加してください。

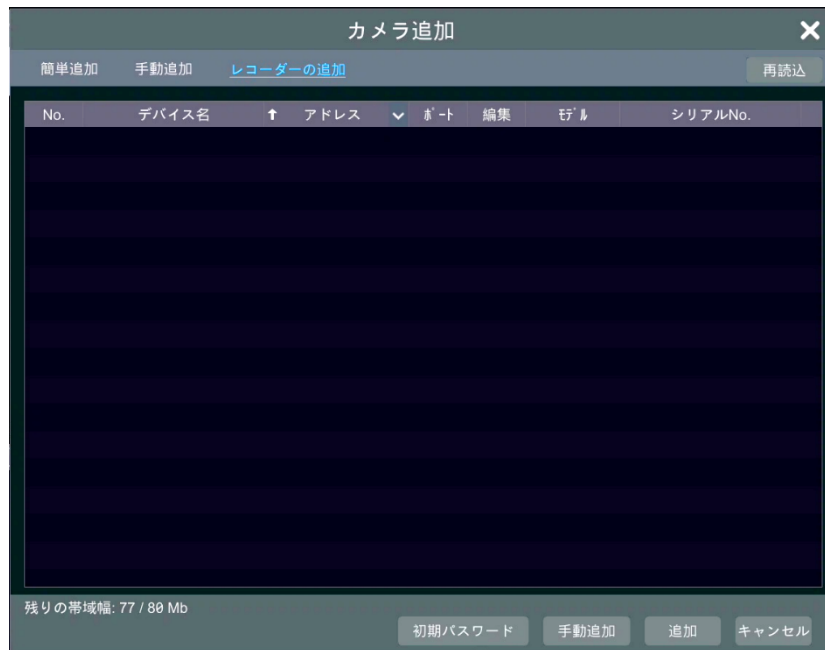


図 4-4

#### 4.1.1.2 カメラ編集

すでに追加済みのカメラの情報を編集します。



図 4-5



図 4-6



カメラ編集

✕

カメラ名

4A05A24PAJ6ED4B

IPv4

10 . 1 . 1 . 103

☐ カメラと同期

ポート

80

プロトコル

DAHUA

モデル

SD50232XAN-HNR

ユーザー名

admin

パスワード





●●●●●●●●

テスト

OK

キャンセル

図 4-7

ボタン	説明
	プレビューボタンです。 カメラプレビューが起動し、当該カメラの映像を確認することができます(図 4-6)。
	編集ボタンです。 登録されているカメラ情報を編集します(図 4-7)。
	削除ボタンです。 登録されているカメラ情報を削除します。
	更新ボタンです。 カメラに対応したアップグレードファイルが存在する場合、アップグレードを実行します。

#### 4.1.1.3 カメラグループ設定

登録されているカメラ同士を紐づけてグループとして扱うことができます。

画面右上「グループ追加」をクリックすると、グループ追加ダイアログがポップアップします(図4-9)。

グループ名、各映像の遷移時間、グループに含めるカメラを選択し、「追加」をクリックするとグループが作成されます。このグループは、カメラ映像の表示の際に、自動でカメラ映像を切り替えながら表示する設定として使用できます。

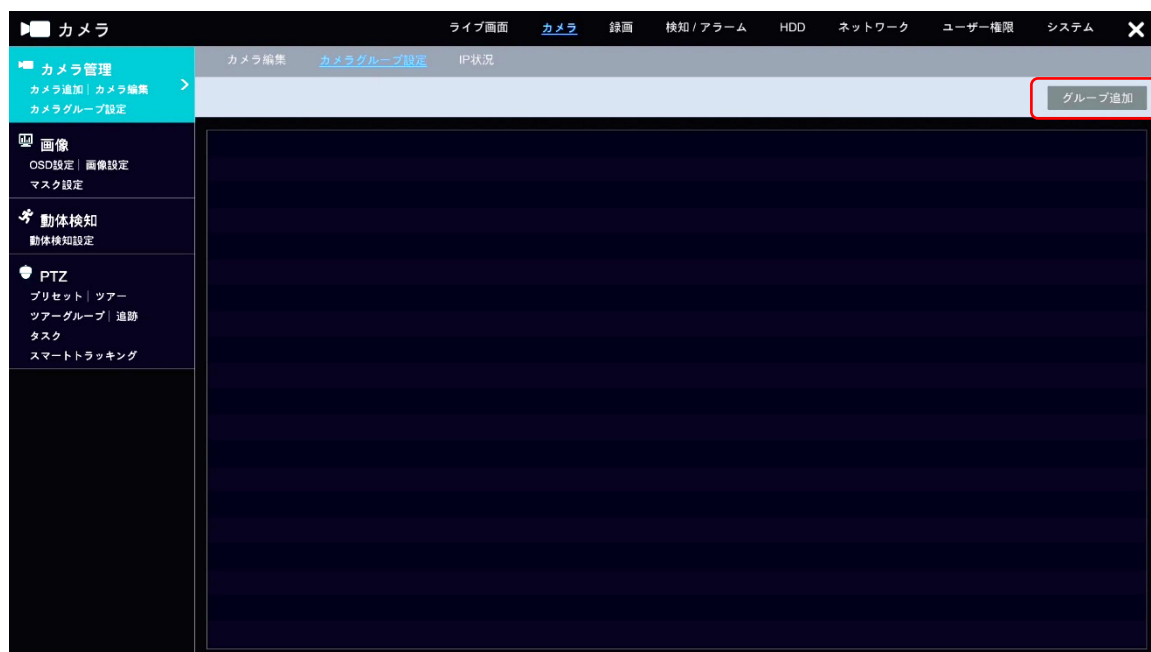


図 4-8



図 4-9

#### 4.1.1.4 IP 状況

各カメラで占有している IP の状況を確認することができます。

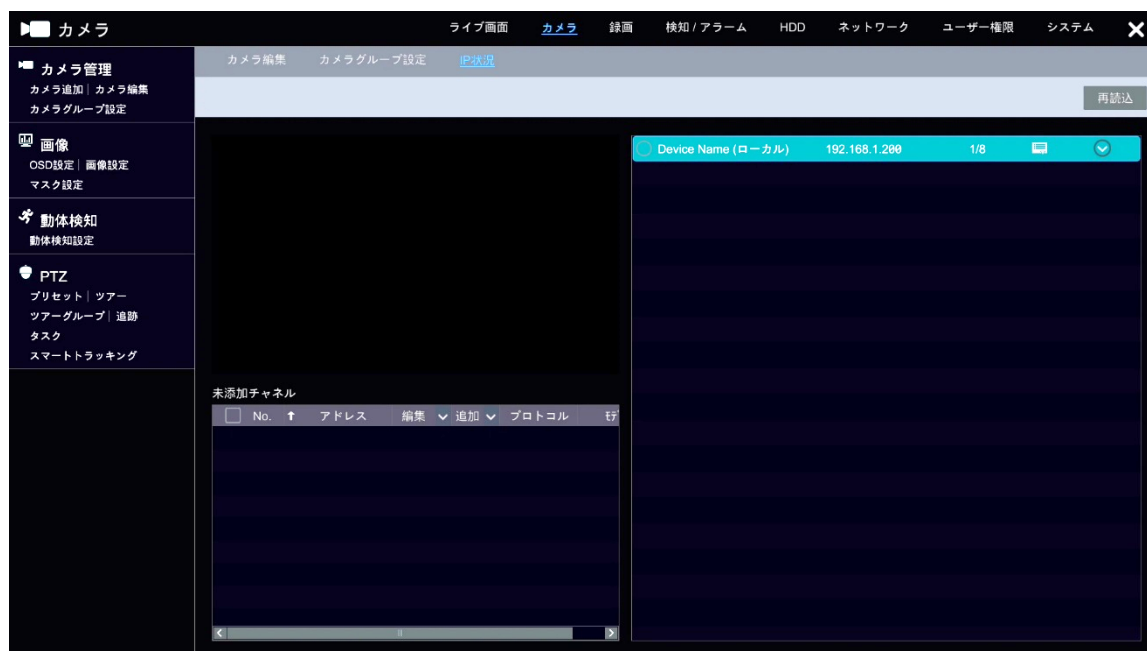


図 4-10

## 4.1.2 画像設定

ここでは、登録されているカメラのライブ映像について設定します。

※接続しているカメラの機種によってサポートしていないものがございます。対応している機種かご確認ください。

### 4.1.2.1 OSD 設定

選択したカメラの オン・スクリーン・ディスプレイ の OSD について設定します。

カメラ名、撮影時刻とその時間形式、日付、透かし表示についてオン・オフを選択し、オンにしたものを表示します。






図 4-11

項目	説明	初期値
カメラ名	カメラの名称が表示されます。	—
カメラ名表示	OSD でカメラ名を表示します。	オン
時刻表示	OSD で時刻を表示します。	オン
日付形式	OSD で表示する日付形式を選択します。 設定値：年/月/日, 月/日/年, 日/月/年	年/月/日
時間形式	OSD で表示する時間形式を選択します。 設定値：24 時間, 12 時間	24 時間
透かし表示	透かし表示を有効にします。	—
透かし文字	透かし文字の内容を設定します。	—
アドレス	カメラのアドレスを表示します。	—

#### 4.1.2.2 画像設定

選択したカメラの明るさ、コントラスト、彩度など、映像の映りについて設定します。

画面左下のエリア①、または画面右側のエリア②のいずれかから、カメラを選択し、各値を調節します。エリア①でシークバーを利用するか、エリア②でをクリックして数値を1ずつ増減させるか、数値を直接入力して設定します。

エリア①内またはエリア②内詳細欄をクリックすると、さらに詳細な値を設定することができます(図 4-13)。また、タブから「スケジュール」や「レンズ制御」をクリックすることで、各設定を行うことができます(図 4-14、図 4-15)

値を調節すると、リアルタイムで左上のライブ映像に反映されていることが確認できます。

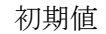
値を初期値に戻す場合は、エリア①内のをクリックしてください。



図 4-12



図 4-13



図 4-14



図 4-15

#### 4.1.2.3 マスク設定

カメラ映像にかけるマスクを設定します。

エリア①内 **描画** をクリックし、マスクをかける箇所をドラッグしてマスク領域を描画します。描画が完了したら、 **描画停止** をクリックしてください。

カメラのプルダウンメニューから、マスクを設定するカメラを選択します。

その後、マスクのプルダウンメニューから「オン」を選択し、マスクを有効にします。

設定後、右下 **適用** をクリックして設定を完了してください。

なお、上記の設定およびマスクの色は、エリア②でも設定可能です。

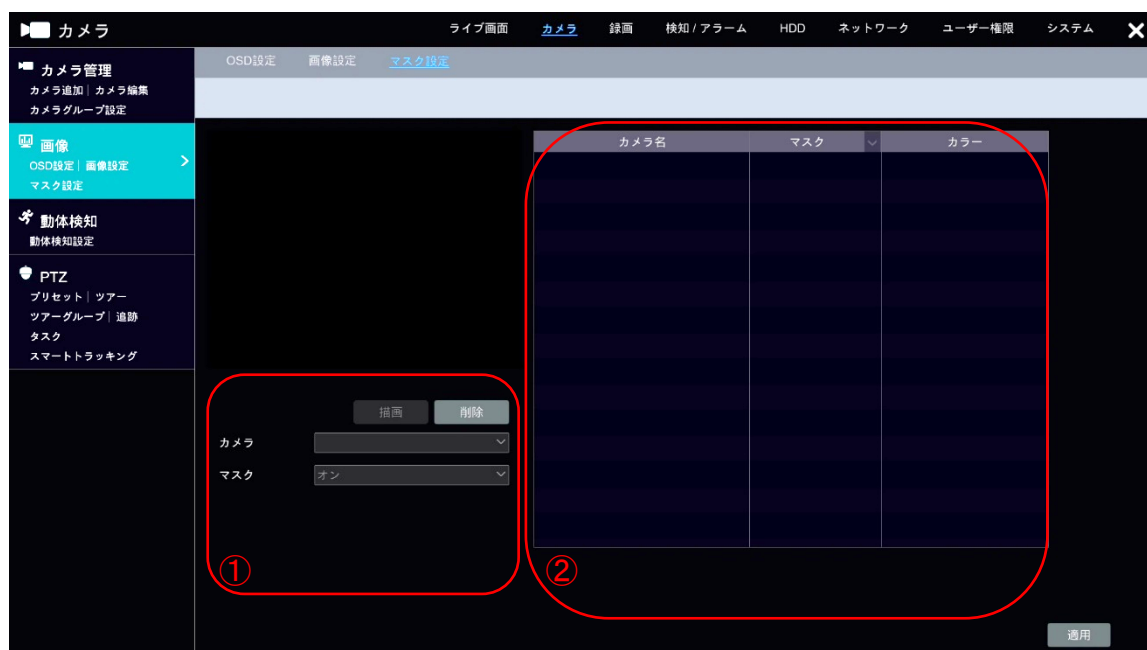


图 4-16



### 4.1.3 動体検知

ここでは、動体検知機能にまつわる設定を行います。

※接続しているカメラの機種によってサポートしていないものがございます。対応している機種かご確認ください。

#### 4.1.3.1 動体検知設定

動体検知エリアを設定します。

エリア①内カメラのプルダウンメニューから、動体検知エリアを設定するカメラを選択してください。

動体検知のプルダウンメニューから「オン」を選択し、動体検知を有効にしてください。

感度のボリュームバーから、動体検知の感度を設定できます。（設定値：0～100）

ライブ映像上をマウスでドラッグすると、動体検知エリアを示す緑のメッシュが表示されます。動体検知を行う箇所に緑のメッシュがかかるように設定してください。

エリア①内 **全て** をクリックすると、ライブ映像全てに動体検知エリアを設定します。

**反転** をクリックすると、現在設定されている動体検知エリアと、非設定エリアを入れ替えます。

**消去** をクリックすると、現在設定されている動体検知エリアを消去します。

動体検知のオン/オフおよび感度はエリア②でも設定することができます。

設定後、右下 **適用** をクリックして設定を完了してください。

なお、**処理モード** をクリックすると、検知/アラーム設定内の動体検知設定画面に移ります。こちらの詳細は、4.3.2.1 動体検知 をご参照ください。



図 4-17





#### 4.1.4 PTZ

ここでは、<sup>パン・チルト・ズーム</sup>P T Z にまつわる設定を行います。

※接続しているカメラの機種によってサポートしていないものがございます。対応している機種かご確認ください。

##### 4.1.4.1 プリセット

操作のプリセットを作成して保存します。

エリア②のリスト  をクリックして、 をクリックすると、プリセット追加画面がポップアップします(図 4-19)。プリセット番号と名称を入力することで、プリセットを追加することができます。なお、プリセット番号は1～255 までとなります。


上記の方法でプリセットを追加してエリア①内で選択、またはエリア①内の操作盤にて新たなプリセット番号と名称を入力したあと、プリセット化する操作を行い、 をクリックしてプリセットを登録します。



図 4-18

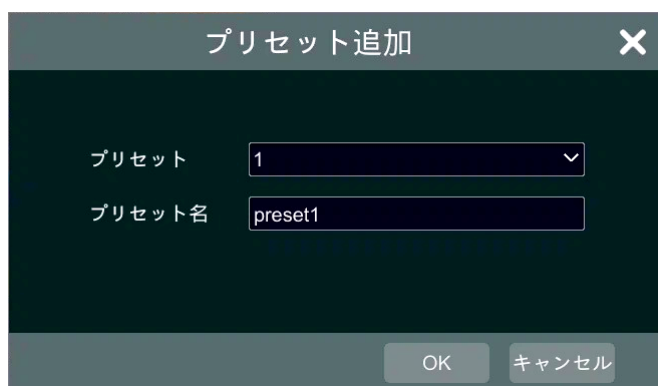

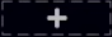




図 4-19

#### 4.1.4.2 ツアー

追加済みのプリセットを使用して、ツアーを作成します。

エリア②にてツアーを作成するカメラのをクリックして、をクリックすると、ツアー追加ダイアログがポップアップします(図 4-21)。ツアーに組み込むプリセットを選択し、ツアーを作成してください。

ツアー作成後、エリア①のからツアーを再生します。を押すとツアーが停止します。

ツアー名や、ツアー内容を変更した際は、をクリックして上書き保存してください。



図 4-20



図 4-21

## 4.2 録画

### 4.2.1 録画

ここでは、録画モードの設定のほか、カメラパラメータ等の設定を確認および変更します。

#### 4.2.1.1 モード設定

録画モードの設定を行います。

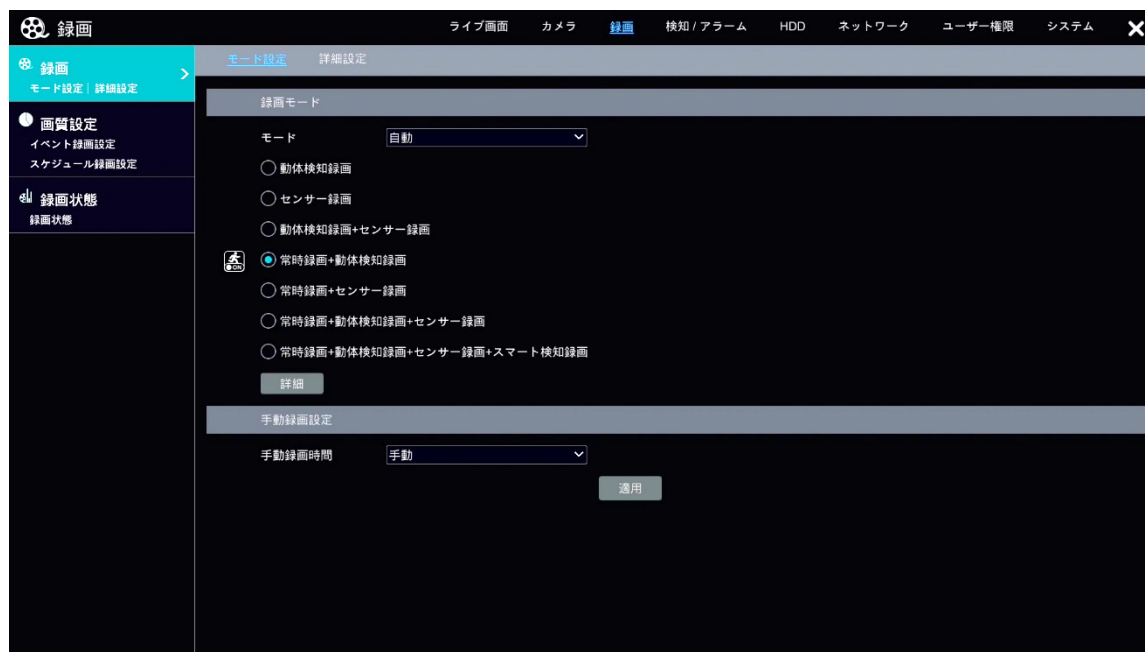


図 4-22



図 4-23

#### ● 録画モード

録画モードは「自動」と「カスタマイズ」から選択することができます。自動のときモード一覧が表

示されます(図 4-22)。録画モード「自動」の際、動体検知録画に係る録画モードを選択すると、ラジオボタン横にピクトグラムの動体検知ON/OFFボタンが表示されます。初期値はOFFになっており、クリックすると有効になります。また、各録画モードの詳細な設定が可能です。設定の値については後述の表をご参照ください。なお、**詳細**をクリックすると、自由に録画モードを組み合わせたオリジナルのモードを作成できます。

カスタマイズのときはカメラ一覧が表示されます(図 4-23)。また、スケジュール設定も可能です。各スケジュールは、デフォルトの設定に加えて**スケジュール管理**から自由に設定できます。

項目	説明	初期値
カメラ名	接続されているカメラ名が表示されます。	－
ストリームタイプ	カメラのストリームタイプが表示されます。 メインストリームのカメラであれば「メインストリーム」と表示されます。	－
エンコード	録画のエンコードタイプを設定します。 設定値：H. 264, H. 265, H. 265+	H. 264
解像度	録画の解像度を設定します。 選択可能な解像度は、カメラがメインストリームかサブストリームかによって変わります。 設定値：(メイン) 1920x1080, 1280x960, 1280x720 (サブ) 1920x1080, 1280x720	1920x1080
FPS	録画のフレームレートを設定します。 設定値：1～30	30
ビットレートタイプ	録画のビットレートタイプを設定します。 設定値：VBR, CBR	CBR
画質	録画の画質が表示されます。	－
ビットレート	録画のビットレートを設定します。 設定値：32Kbps, 64Kbps, 128Kbps, 256Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1024Kbps, 1536Kbps, 2048Kbps, 3072Kbps, 4096Kbps, 5120Kbps, 6144Kbps, 8192Kbps, 10240Kbps	2048Kbps
ビットレート推奨範囲	当該カメラのビットレート推奨範囲が表示されます。	－
音声	録画に音声を含めるか設定します。	オン
GOP	録画で使用する <small>グループ・オブ・ピクチャーズ</small> G O P のフレーム数を設定します。 値を設定する際は、テキストボックスが表示され、手入力します。	60



#### ● 手動録画設定



録画時間を、手動または1分～5時間までの範囲で指定することができます。  
初期値は手動となっています。

設定後、**適用**をクリックして設定を完了してください。

- スケジュール管理について

**スケジュール管理**をクリックすると、スケジュール管理ダイアログがポップアップします(図 4-24)。

既存のスケジュールのをクリックすると、スケジュール編集画面に切り替わり、スケジュールを編集できます。をクリックすると、当該スケジュールを削除します。

**追加**をクリックすると、スケジュール追加画面に移ります(図 4-25)。をクリックした状態で時間帯をドラッグすると、設定が有効になる時間帯を設定できます。をクリックした状態で有効になっている時間帯をドラッグすると、その時間帯を削除します。また「手動」をクリックすると時間削除ダイアログがポップアップします(図 4-26)。このダイアログから時間帯と曜日を手入力することで、有効にする時間帯を確実に選択することが可能です。

「全て」をクリックすると、すべての時間帯を有効にします。「反転」をクリックすると、選択中の時間帯の有効/無効を反転します。「全消去」をクリックすると、すべての時間帯を無効にします。



図 4-24

スケジュール追加

スケジュール名

スケジュール名入力

手動

全て

反転

全消去

日	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
月	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
火	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
水	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
木	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
金	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去
土	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	コピー先	手動	全て	反転	全消去

OK

キャンセル

図 4-25

時間削除

開始時間

15:51

🕒

終了時間

16:51

🕒

☒ 日
 ☒ 月
 ☒ 火
 ☒ 水

☒ 木
 ☒ 金
 ☒ 土

OK

キャンセル

図 4-26



## 4.2.1.2 詳細設定



図 4-27

### ● 詳細録画設定

項目	説明	初期値
上書き録画	HDD 残容量が 0 になったとき、古いデータに上書きする場合は、上書き録画を有効にします。 ミニプレーヤーが起動し、当該カメラの映像を確認することができます。	ON
全ストリーム録画	上書き録画を適用するストリームを選択します。 初期値が全ストリーム録画のため、初回設定時は全ストリーム録画と表示されます。 設定値: 全ストリーム録画, メインストリーム録画, サブストリーム録画	全ストリーム録画

### ● カメラ録画パラメーター

項目	説明	初期値
カメラ名	接続されているカメラ名が表示されます。	—
検知前録画時間	イベントが検知される前の録画時間を設定します。 設定値: 検知前録画無効, 3 秒, 5 秒	5 秒
検知後録画時間	イベントが検知された後の録画時間を設定します。 設定値: 検知後録画無効, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 1 分, 2 分, 5 分, 10 分	10 秒
有効時間	イベントを検知する期間を設定します。 設定値: 期限無し, 1 日, 2 日, 3 日, 4 日, 5 日, 6 日, 7 日, 14 日, 21 日, 30 日, 60 日, 90 日, 180 日,	期限無し

項目	説明	初期値
	カスタマイズ	

## 4.2.2 画質設定

ここでは、イベント録画時や、スケジュール録画を用いる際の録画面質を設定します。

### 4.2.2.1 イベント録画設定

イベント発生時の録画の設定をします。



図 4-28

項目	説明	初期値
カメラ名	接続されているカメラ名が表示されます。	—
ストリームタイプ	カメラのストリームタイプが表示されます。 メインストリームのカメラであれば「メインストリーム」と表示されます。	—
エンコード	録画のエンコードタイプを設定します。 設定値：H. 264, H. 265	H. 264
解像度	録画の解像度を設定します。 選択可能な解像度は、カメラがメインストリームかサブストリームかによって変わります。 設定値：（メイン）1920x1080, 1280x960, 1280x720 （サブ）1920x1080, 1280x720	1920x1080
FPS	録画のフレームレートを設定します。 設定値：1～30	30

項目	説明	初期値
ビットレートタイプ	録画のビットレートタイプを設定します。 設定値：VBR, CBR	CBR
画質	録画の画質が表示されます。	—
ビットレート	録画のビットレートを設定します。 設定値：32Kbps, 64Kbps, 128Kbps, 256Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1024Kbps, 1536Kbps, 2048Kbps, 3072Kbps, 4096Kbps, 5120Kbps, 6144Kbps, 8192Kbps, 10240Kbps	2048Kbps
ビットレート推奨範囲	当該カメラのビットレート推奨範囲が表示されます。	—
音声	録画に音声を含めるか設定します。	オン
GOP	録画で使用する <small>グループ・オブ・ピクチャーズ</small> G O P のフレーム数を設定します。 値を設定する際は、テキストボックスが表示され、手入力します。	60

#### 4.2.2.2 スケジュール録画設定

スケジュールを用いた際の録画の設定をします。



図 4-29

項目	説明	初期値
カメラ名	接続されているカメラ名が表示されます。	—
ストリームタイプ	カメラのストリームタイプが表示されます。 メインストリームのカメラであれば「メインストリーム」と	—

項目	説明	初期値
	表示されます。	
エンコード	録画のエンコードタイプを設定します。 設定値：H. 264, H. 265	H. 264
解像度	録画の解像度を設定します。 選択可能な解像度は、カメラがメインストリームかサブストリームかによって変わります。 設定値：（メイン）1920x1080, 1280x960, 1280x720 （サブ）1920x1080, 1280x720	1920x1080
FPS	録画のフレームレートを設定します。 設定値：1～30	30
ビットレートタイプ	録画のビットレートタイプを設定します。 設定値：VBR, CBR	CBR
画質	録画の画質が表示されます。	－
ビットレート	録画のビットレートを設定します。 設定値：32Kbps, 64Kbps, 128Kbps, 256Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1024Kbps, 1536Kbps, 2048Kbps, 3072Kbps, 4096Kbps, 5120Kbps, 6144Kbps, 8192Kbps, 10240Kbps	2048Kbps
ビットレート推奨範囲	当該カメラのビットレート推奨範囲が表示されます。	－
音声	録画に音声を含めるか設定します。	オン
GOP	録画で使用する <small>グループ・オブ・ピクチャーズ</small> G O P のフレーム数を設定します。 値を設定する際は、テキストボックスが表示され、手入力します。	60

### 4.2.3 録画状態

ここでは、接続されたカメラの録画状態を確認します。

#### 4.2.3.1 録画状態

接続されたカメラとその録画状態がリストで一覧表示されます。

この画面から設定を変更することはできません。変更する場合は、 4.2.2 画質設定 をご参照の上、変更してください。

録画									
ライブ画面   カメラ   録画   検知 / アラーム   HDD   ネットワーク   ユーザー権限   システム									
録画状態									
録画									
モード設定   詳細設定									
画質設定									
イベント録画設定									
スケジュール録画設定									
録画状態									
録画状態									
カメラ名	状態	ストレージ	FPS	ビットレート	画質	ビットレート	解像度	録画タイプ	
IPDPT250	録画	メインス...	30	CBR	--	2089 / 2048 Kbps	1920x1080	スケジュール	
IPDPT250	録画	サブスト...	30	CBR	--	1008 / 1024 Kbps	704x480	スケジュール	

図 4-30

### 4.3 検知/アラーム

#### 4.3.1 イベント通知

ここでは、アラームの発報やメールの送受信、その他イベントが発生した際の通知設定を行います。  
※接続しているカメラの機種によってサポートしていないものがございます。対応している機種か  
ご確認願います。

##### 4.3.1.1 アラーム出力

アラームを設定している場合、この画面のリストに一覧されます。



図 4-31

項目	説明	初期値
No	アラーム No を表示します。	－
名前	アラームの名前を表示します。	－
時間	アラームが出力される時間を設定します。 設定値：1 秒, 2 秒, 3 秒, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 1 分, 2 分, 手動	10 秒
スケジュール	「スケジュール管理」からアラームに任意のスケジュールを設定します。各スケジュールの名称も自由に設定可能です。 スケジュール管理設定については、4.2.1.1 モード設定 内 スケジュール管理について をご参照ください。 設定値：24x7, 24x5, 無し ※任意のスケジュールを設定すると、項目として表示されます。	－
タイプ	アラームのタイプを表示します。	－
テスト	<span>テスト</span> をクリックすると、当該アラームをテスト出力します。	－

4.3.1.2 メール

イベント発生時に指定受信者に対してメール通知を行います。

使用するスケジュールを追加または変更する際は、**スケジュール管理**をクリックして設定します。スケジュール管理設定については、4.2.1.1 モード設定 内 スケジュール管理について をご参照ください。

また、送信者側の設定は**送信者編集**をクリックして設定します。こちらをクリックすると、ネットワーク設定画面のメール設定へジャンプします。

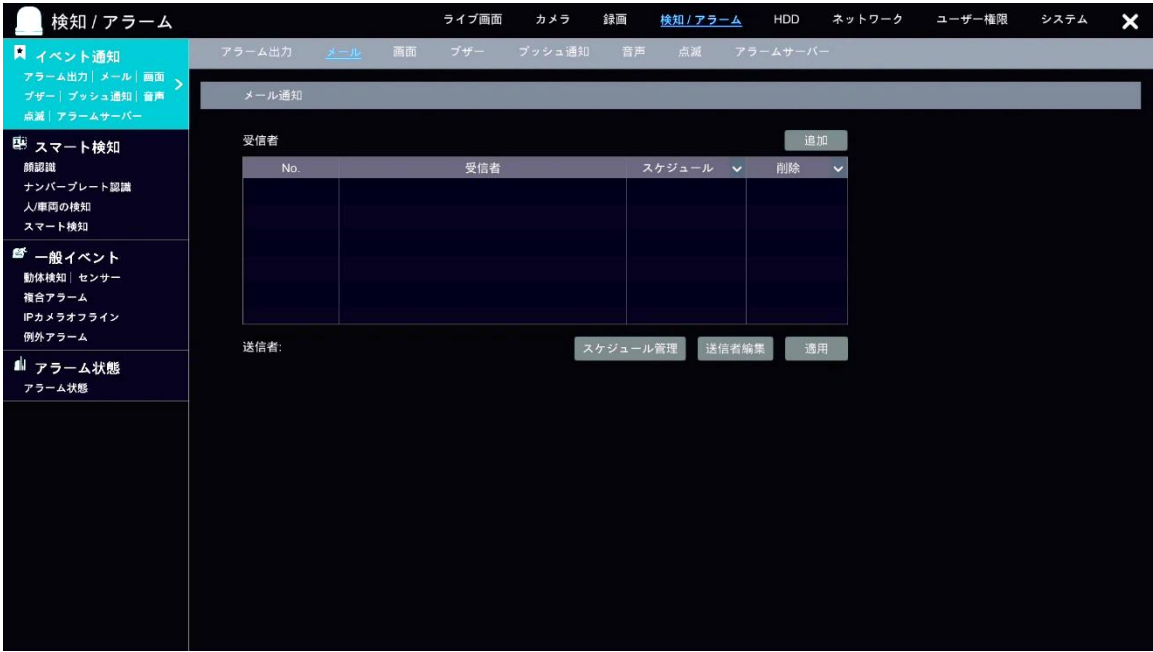


図 4-32

項目	説明	初期値
No	受信者 No を表示します。	－
名前	アラームの名前を表示します。	－
スケジュール	メール通知に任意のスケジュールを設定します。 既存のスケジュールではなく、新しくスケジュールを追加する場合、受信者リストの下部 <b>スケジュール管理</b> をクリックしてスケジュールを登録します。 設定値：24x7, 24x5, 無し ※任意のスケジュールを設定すると、項目として表示されます。	－
削除	<b>削除</b> をクリックすると、当該アラームを削除します。	－

#### 4.3.1.3 画面

イベント通知があった際、イベントが発生した画面の表示とメッセージの表示について設定します。



図 4-33

##### ● 1 画面表示

項目	説明	初期値
時間	イベント発生時に映像を 1 画面表示する時間を設定します。 設定値：5 秒, 10 秒, 15 秒, 20 秒, 30 秒, 40 秒, 1 分, 2 分, 3 分, 5 分, 常時	10 秒

##### ● メッセージ表示

項目	説明	初期値
今後表示しない	イベント発生時のメッセージに「今後表示しない」機能を追加します。	オフ
検知前録画時間	イベントを検知する前の映像を録画する時間を設定します。 設定値：3 秒, 6 秒, 10 秒, 15 秒, 20 秒, 30 秒, 40 秒, 1 分, 2 分, 3 分, 5 分, 常時	10 秒



4.3.1.4 ブザー

イベント発生時に鳴動するブザーについて設定します。

設定したブザーについて、**テスト**をクリックすると動作テストを行います。

設定完了後、**適用**をクリックして設定を完了してください。

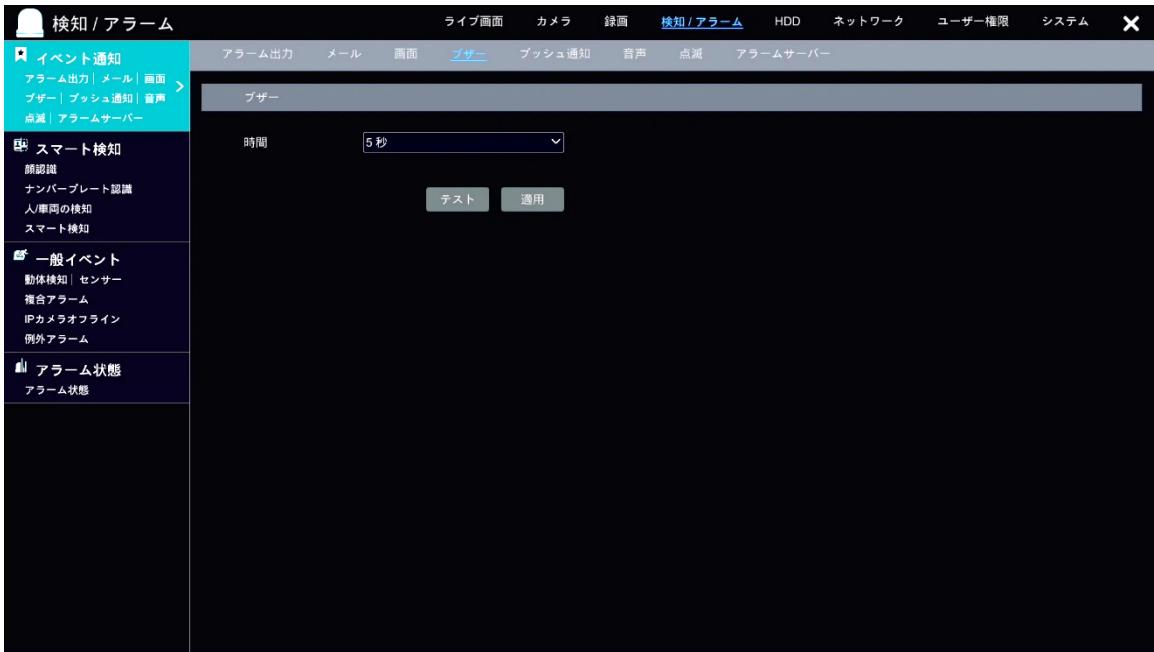


図 4-34

項目	説明	初期値
時間	イベント発生を報せるブザー音の鳴動時間を設定します。 設定値：3 秒, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 1 分, 2 分, 5 分, 10 分	5 秒

### 4.3.2 一般イベント

ここでは、動体検知された場合やセンサーでの感知など、イベントが発生した際の挙動を設定します。

※接続しているカメラの機種によってサポートしていないものがございます。対応している機種かご確認ください。

#### 4.3.2.1 動体検知

動体検知するよう設定された内容がカメラ映像内に検知された際の録画および静止画撮影、アラーム出力、プリセットによる動作を設定します。

右下「動体検知設定」をクリックすると、動体検知画面にジャンプします。詳細は、4.1.3.1 動体検知設定 をご参照ください。



図 4-35



図 4-36



図 4-37



図 4-38








図 4-39



図 4-40

項目	説明	初期値
カメラ名	動体検知を行うカメラ名が表示されます。	－
スケジュール	<p>動体検知を行うスケジュールを設定します。</p> <p>「スケジュール管理」からアラームに任意のスケジュールを設定します。各スケジュールの名称も自由に設定可能です。スケジュール管理設定については、4.2.1.1 モード設定 内スケジュール管理について をご参照ください。</p> <p>設定値：24x7, 24x5, 無し</p> <p>※任意のスケジュールを設定すると、項目として表示されます。</p>	24x7
録画	<p>動体検知された際に録画を行うよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「検知録画」がポップアップしますので(図 4-36)、動体検知による録画を行うカメラを左側カメラリストから選択し、<b>&gt;&gt;</b> をクリックして右側検知カメラリストへ移動して設定します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ
静止画撮影	<p>動体検知された際に静止画撮影を行うよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p>	オフ

項目	説明	初期値
	<p>「静止画起動」がポップアップしますので(図 4-37)、動体検知による撮影を行うカメラを左側カメラリストから選択し、をクリックして右側検知カメラリストへ移動して設定します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	
プッシュ通知	動体検知された際にプッシュ通知を行うよう設定します。	オン
アラーム出力	<p>動体検知された際にアラーム出力をするよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「アラーム出力検知」がポップアップしますので(図 4-38)、任意のアラームを左側アラーム出力リストから選択し、をクリックして右側アラーム出力検知リストへ移動して設定します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ
プリセット	<p>動体検知された際にプリセットされた挙動を再生します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「プリセット起動」がポップアップしますので(図 4-39)、カメラ名に対応するプリセットを選択します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ
	動体検知された際にブザーを鳴動させるよう設定します。	オン
	動体検知された際に、当該カメラの映像を 1 画面表示するよう設定します。「カメラ設定」をクリックすると「カメラ編集」がポップアップします(図 4-40)。	オン
	動体検知された際にメールを送信するよう設定します。	オフ

### 4.3.2.2 IPカメラオフライン

指定したカメラの接続を監視し、オフラインになった場合に通知する設定を行います。



図 4-41



図 4-42



図 4-43







図 4-44





図 4-45

項目	説明	初期値
カメラ名	オフラインを監視するカメラの名称が表示されます。	－
静止画撮影	<p>カメラがオフラインになった際に静止画撮影を行うよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「静止画起動」がポップアップしますので(図 4-42)、動体検知による撮影を行うカメラを左側カメラリストから選択し、<b>&gt;&gt;</b>をクリックして右側検知カメラリストへ移動して設定します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ<b>設定</b>をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後<b>OK</b>をクリックして完了してください。</p>	オフ
プッシュ通知	カメラがオフラインになった際にプッシュ通知を行うよう設定します。	オン
アラーム出力	<p>カメラがオフラインになった際にアラーム出力をするよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「アラーム出力検知」がポップアップしますので(図 4-43)、任意のアラームを左側アラーム出力リストから選択し、<b>&gt;&gt;</b>をクリックして右側アラーム出力検知リストへ移動して設定します。</p>	オフ

項目	説明	初期値
	<p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	
プリセット	<p>カメラがオフラインになった際にプリセットされた挙動を再生します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「プリセット起動」がポップアップしますので(図 4-44)、カメラ名に対応するプリセットを選択します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ
	カメラがオフラインになった際にブザーを鳴動させるよう設定します。	オン
	カメラがオフラインになった際に、当該カメラの映像を1画面表示するよう設定します。「カメラ設定」をクリックすると「カメラ編集」がポップアップします(図 4-45)。	オフ
	カメラがオフラインになった際にメッセージを表示するよう設定します。	オン
	カメラがオフラインになった際にメールを送信するよう設定します。	オフ

### 4.3.2.3 例外アラーム





正常な動作にするにあたり、例外的な状況に陥った際のアラーム出力を設定します。



図 4-46



図 4-47

項目	説明	初期値																		
イベントタイプ	<p>例外としてアラームを発報するイベントタイプの名前を表示します。</p> <p>各イベントタイプの意味を下表に示します。</p> <table><tr><th>イベントタイプ</th><th>説明</th></tr><tr><td>IP アドレス競合</td><td>複数のカメラにより IP アドレスが競合している</td></tr><tr><td>HDD IO エラー</td><td>HDD へのデータ書き込み/読み込みができなかった(接続不良等)</td></tr><tr><td>HDD フル</td><td>HDD の残容量が 0 になった</td></tr><tr><td>HDD 無し</td><td>HDD が接続されていない</td></tr><tr><td>不法アクセス</td><td>カメラおよびネットワークに対し、正式でない方法でのアクセスがあった</td></tr><tr><td>ネットワーク切断</td><td>ネットワークとの接続が切断されている</td></tr><tr><td>HDD 喪失</td><td>HDD との接続が失われた</td></tr><tr><td>アラームサーバー オフライン</td><td>アラームサーバーがオフラインになっている</td></tr></table>	イベントタイプ	説明	IP アドレス競合	複数のカメラにより IP アドレスが競合している	HDD IO エラー	HDD へのデータ書き込み/読み込みができなかった(接続不良等)	HDD フル	HDD の残容量が 0 になった	HDD 無し	HDD が接続されていない	不法アクセス	カメラおよびネットワークに対し、正式でない方法でのアクセスがあった	ネットワーク切断	ネットワークとの接続が切断されている	HDD 喪失	HDD との接続が失われた	アラームサーバー オフライン	アラームサーバーがオフラインになっている	-
イベントタイプ	説明																			
IP アドレス競合	複数のカメラにより IP アドレスが競合している																			
HDD IO エラー	HDD へのデータ書き込み/読み込みができなかった(接続不良等)																			
HDD フル	HDD の残容量が 0 になった																			
HDD 無し	HDD が接続されていない																			
不法アクセス	カメラおよびネットワークに対し、正式でない方法でのアクセスがあった																			
ネットワーク切断	ネットワークとの接続が切断されている																			
HDD 喪失	HDD との接続が失われた																			
アラームサーバー オフライン	アラームサーバーがオフラインになっている																			
プッシュ通知	例外アラームが発報した際にプッシュ通知を行うよう設定します。	オン																		
アラーム出力	<p>例外アラームが発報した際にアラーム出力をするよう設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「アラーム出力検知」がポップアップしますので(図 4-47)、任意のアラームを左側アラーム出力リストから選択し、をクリックして右側アラーム出力検知リストへ移動して設定します。</p> <p>また、この画面は、機能がオンの場合のみ <b>設定</b> をクリックしても表示されます。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ																		
	例外アラームが発報した際にブザーを鳴動させるよう設定します。	オン																		
	例外アラームが発報した際にメッセージを表示するよう設定します。	オン																		
	例外アラームが発報した際にメールを送信するよう設定します。	オフ																		

### 4.3.3 アラーム状態

ここでは、アラームの発生状況およびその詳細について確認します。

#### 4.3.3.1 アラーム状態

各アラームが発報しているときは赤<sup>①</sup>、発生していない(正常な)ときはグレーのアイコン<sup>②</sup>で表示されます。なお、アラーム発報中を示す赤いアイコン内の数字は、当該アラームの発生数を示しています。

アラームが発生している項目右端<sup>③</sup>をクリックすると、アラーム内容が詳細に表示されます(図4-49)。アラーム内容が複数にわたる場合、<sup>④</sup>または<sup>⑤</sup>でページを送ることができます。また、テキストボックスに番号を入力することでページジャンプも可能です。



図 4-48



図 4-49

項目	説明	初期値
ブザー	アラーム発報によりブザーが鳴動している場合、 <b>クリア</b> を押下することでブザーを停止することができます。	-
アラーム入力	アラーム入力の発報状況を表示します。	-
アラーム出力	アラーム出力の発報状況を表示します。 アラーム出力について、詳細は 4.3.1.1 アラーム出力 をご参照ください。	-
動体検知	動体検知の発報状況を表示します。 動体検知について、詳細は 4.3.2.1 動体検知 をご参照ください。	-
スマート検知	<b>※本機能はサポート対象外です。</b> スマート検知の発報状況を表示します。	-
例外アラーム	例外アラームの発報状況を表示します。 アラーム出力について、詳細は 4.3.1.1 アラーム出力 をご参照ください。	-
複合アラーム	<b>※本機能はサポート対象外です。</b> 複合アラームの発報状況を表示します。	-
ナンバープレート 比較アラート	<b>※本機能はサポート対象外です。</b> ナンバープレート比較アラートの発報状況を表示します。	-

## 4.4 HDD

### 4.4.1 HDD 管理

ここでは、接続された HDD の管理を行います。

#### 4.4.1.1 HDD 管理

接続されている HDD がリスト表示されます。

なお、HDD は NVR の電源が入っているときに抜き差し可能です。

また、HDD が異常な状態にある場合には、画面に「HDD なし」「HDD は使用できません」等の異常情報が表示されます。



図 4-50

項目	説明	初期値
HDD	接続されている HDD の名称を表示します。	－
空き容量/総容量(GB)	HDD の空き容量と総容量を GB で表示します。	－
シリアル No.	HDD のシリアルナンバーを表示します。	－
HDD モデル	HDD のモデル名を表示します。	－
状態	HDD の状態を表示します。	－
タイプ	HDD のタイプを表示します。	－
上書き保存	HDD の残容量が 0 になった場合、一番古いデータを削除して録画を継続します。	オン
操作	HDD の初期化が可能です。 HDD の初期化を行う場合、当該 HDD の 初期化 を押下します。 すべての HDD の初期化を行う場合、	－
録画期間	当該 HDD が録画を継続した期間を表示します。	－

## 4.4.2 記録モード

ここでは、HDD などの記録媒体とカメラをグループとして結び付けます。


カメラで撮影した録画データは、グループとして結び付けた任意の記録媒体に記録することができます。

### 4.4.2.1 記録モード設定

HDD などの記録媒体とカメラを任意のグループに設定します。

グループは 4 グループまで存在し、グループ 1 以外は削除することができます。

新しく追加された記録媒体およびカメラは、自動的にグループ 1 に属します。他のグループに変更する際は手動で設定する必要があります。なお、各機材はそれぞれひとつのグループにのみ設定できます。

通常グループリストからグループを選択し、記録媒体またはカメラの  をクリックすると、機材追加用ダイアログがポップアップします(図 4-52、図 4-53)。

任意の記録媒体またはカメラを確認し、追加してください。

HDD スロットが 2～4 個あるモデルの場合、BK グループを追加することができます。

バックアップ用 HDD を追加します。アカウント認証後、HDD を選択すると、HDD が通常グループからバックアップグループに移動し、同時にフォーマットされます。

この HDD をバックアップグループから外す際は、事前に全データをバックアップすることを推奨します。

また、この HDD にはカメラを追加することができます。追加されたカメラは、通常グループとバックアップグループに属するそれぞれの HDD に対して録画することが可能です。

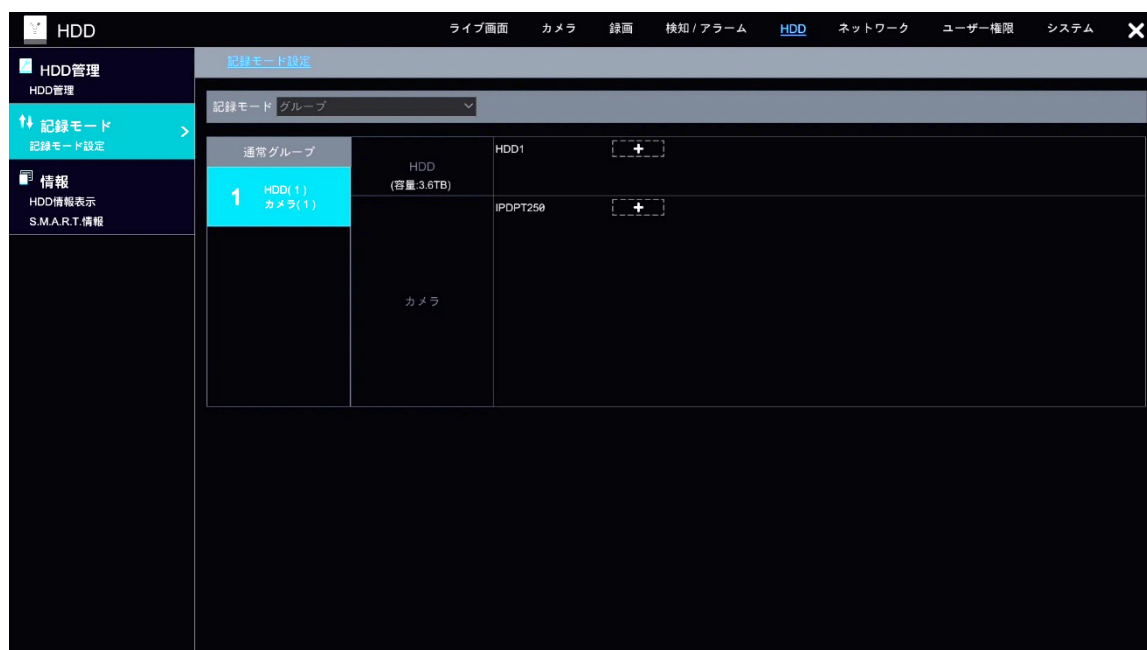


図 4-51



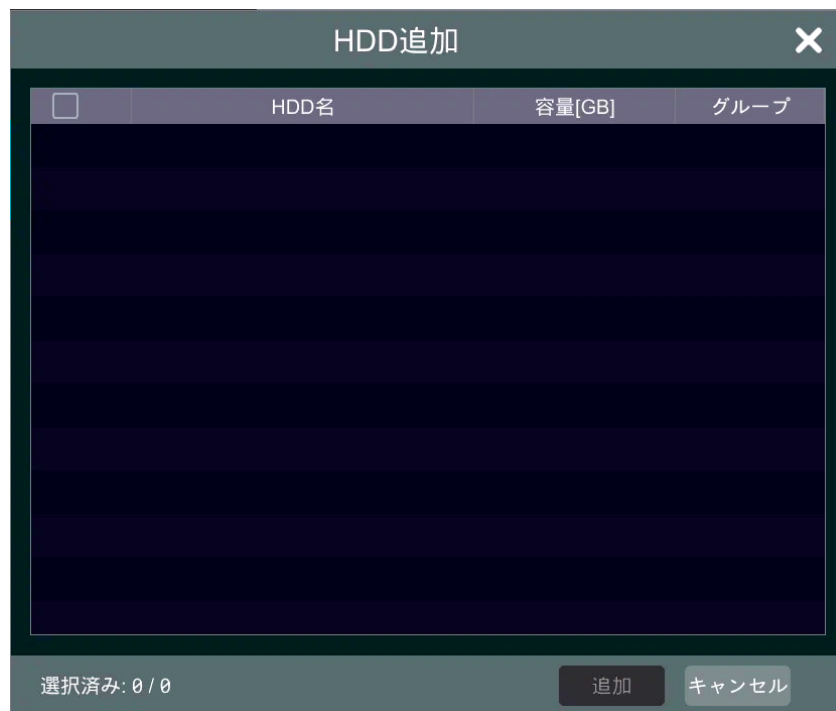


図 4-52



図 4-53

### 4.4.3 情報

ここでは、接続された各 HDD の情報を閲覧します。

#### 4.4.3.1 HDD 情報表示

接続された HDD の情報を表示します。



図 4-54

項目	説明	初期値
HDD	接続されている HDD の名称を表示します。	－
タイプ	HDD のタイプを表示します。	－
空き容量/総容量(GB)	HDD の空き容量と総容量を GB で表示します。	－
状態	HDD の状態を表示します。	－
ソース	HDD のソースを表示します。	－
グループ	当該 HDD が属するグループを表示します。 詳細は、 4.4.2.1 記録モード設定 をご参照ください。	－
録画期間	当該 HDD が録画を継続した期間を表示します。	－

#### 4.4.3.2 S.M.A.R.T. 情報

接続された HDD の S.M.A.R.T. 情報を表示します。

S.M.A.R.T. (Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology) は、障害や故障の予測・早期発見のため HDD に搭載されている機能です。



図 4-55

項目	説明	進数表記
ID	属性の ID を表示します。	16 進数
属性	属性の名称を表示します。	—
値	属性の現在の値を表示します。	10 進数
最悪値	属性が示した過去最悪の値を表示します。	10 進数
しきい値	HDD の製造元で指定されたしきい値を表示します。	10 進数
生データ	値として正規化する前の、実際の値を表示します。	16 進数
状態	各値を比較し、現在の状態を正常/異常で表示します。	—

## 4.5 ネットワーク

### 4.5.1 ネットワーク

ここでは、ネットワーク接続にかかわるすべての設定を行います。

#### 4.5.1.1 TCP/IP

TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)の設定を行います。

主にオフライン/オンラインの設定と、IP アドレスの設定が可能です。

イーサネットポート 1(オフライン) をクリックするとオフライン設定、内部イーサネットポート (オンライン) をクリックするとオンライン設定の画面に遷移します。

また、オフライン設定時のみ 詳細 をクリックして二次 IP 等を設定することができます。

- イーサネットポート 1(オフライン)



図 4-56

項目	説明	初期値
IP アドレス自動取得	IP アドレスを自動で取得します。	オフ
IPv4		
アドレス	IPv4 でのアドレスを入力します。	192.168.1.200
サブネットマスク	サブネットマスクを指定します。	255.255.255.0
ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを入力します。	192.168.1.1
DNS 自動取得	DNS の自動取得を有効にします。	オフ
優先 DNS	DNS 取得の際に優先的に使用する DNS を設定します。	192.168.1.1
代替 DNS	優先 DNS と通信不可の際に使用する DNS を設定します。	-

項目	説明	初期値
IPv6		
有効	IPv6 を有効にします。	オフ
アドレス	アドレスを入力します。	－
マスク長	マスク長を指定します。	－
ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを入力します。	－
IPv6 の DNS を 自動取得	IPv6 の DNS の自動取得を有効にします。	オフ
優先 DNS	DNS 取得の際に優先的に使用する DNS を設定します。	－
代替 DNS	優先 DNS と通信不可の際に使用する DNS を設定します。	－

- 内部イーサネットポート(オンライン)

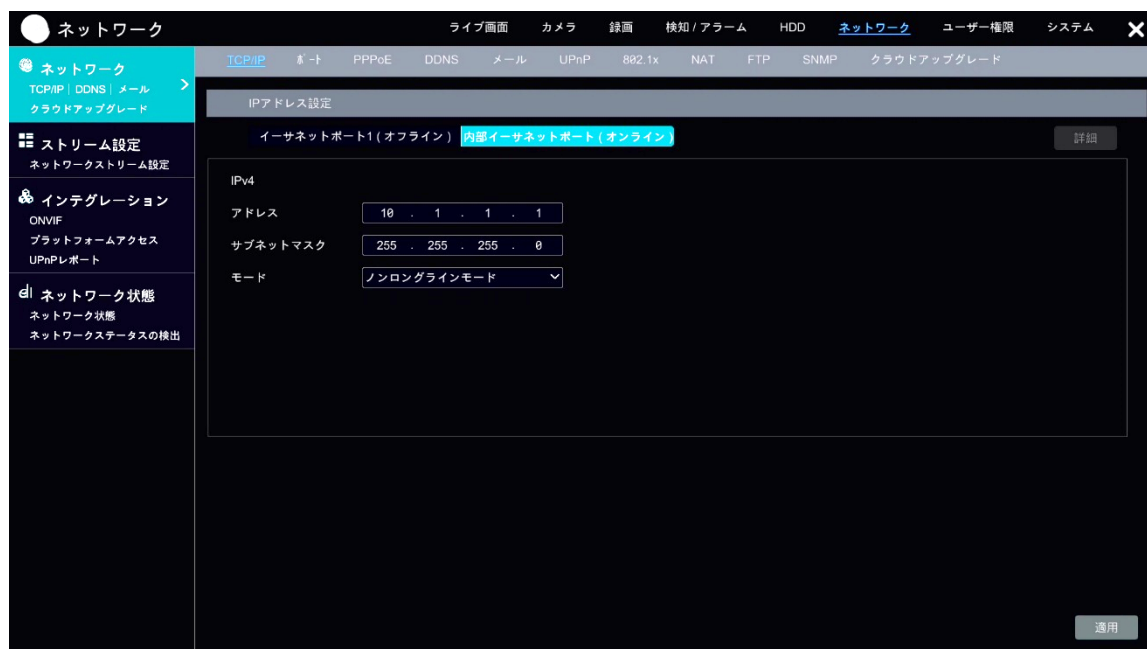


図 4-57

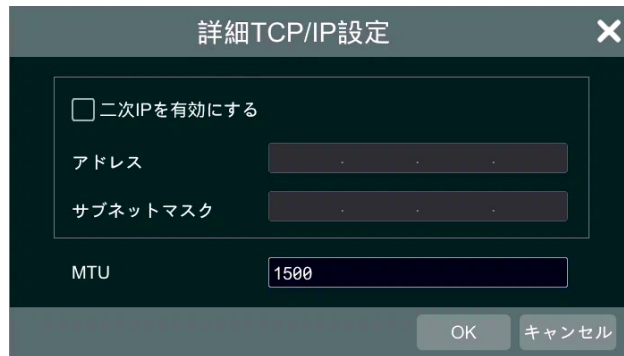
項目	説明	初期値
アドレス	内部イーサネットポートで使用するアドレスを入力します。	10.1.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを指定します。	255.255.255.0
モード	伝送の状況に応じてモード変更を行います。 ネットワークケーブルの伝送状況が芳しくないとき、ケーブルを長く取っている場合にロングラインモードを選択します。 設定値：ノンロングラインモード, ロングラインモード	ノン ロングライン モード

- 詳細

**詳細** をクリックするとポップアップします(オフライン設定時のみ)。

二次 IP を有効にする場合はチェックボックスをオンにして、アドレスとサブネットマスクを入力します。必要に応じて MTU(Maximum Transmission Unit)を変更してください。

入力を終わったら、**OK** をクリックして完了します。



詳細TCP/IP設定

☐ 二次IPを有効にする

アドレス

サブネットマスク

MTU 1500

OK キャンセル

図 4-58

#### 4.5.1.2 ポート

ポート設定を行います。

設定後、画面下部 **適用** をクリックして設定を完了してください。

図 4-59

項目	説明	初期値
HTTP ポート	NVR の HTTP ポートを指定します。 デフォルト HTTP ポート (80) 以外に変更可能です。	80
HTTPS ポート	NVR の HTTPS ポートを指定します。 デフォルト HTTPS ポート (443) 以外に変更可能です。 なお、HTTPS ポートを使用するには、後述「有効」チェックボックスをオンにする必要があります。	443
有効	HTTPS ポートを有効にします。	オフ
サーバーポート	NVR のサーバーポート番号を指定します。 デフォルトのサーバーポート (6036) 以外に変更可能です。	6036
POS ポート	NVR の POS ポートを指定します。	9036
API サーバー		
有効	API サーバーを有効にします。 API サーバーを有効にする際、RTSP も同時に有効にするかを質問するダイアログがポップアップします。 映像を表示するには RTSP も有効にする必要があるため、差し支えなければ <b>OK</b> を押下して有効にすることを推奨します。	オフ
認証	認証の方式を選択します。 ダイジェストを選択すると、ユーザー ID やパスワードをハ	ダイジェスト

項目	説明	初期値
	ハッシュ化して送信します。 設定値：基本, ダイジェスト	
RTSP		
有効	RTSP を有効にします。	オフ
認証	認証の方式を選択します。 ダイジェストを選択すると、ユーザーID やパスワードをハッシュ化して送信します。 設定値：基本, ダイジェスト	ダイジェスト
RTSP ポート	NVR の RTSP ポートを指定します。	554
ユーザー名と パスワード入力なしで 接続する	ログインを介さずに NVR に接続する場合に有効にします。	オフ



### 4.5.1.3 PPPoE

PPPoE 接続を使用する場合、有効チェックボックスをオンにします。

ユーザー名とパスワードを入力し、**適用**をクリックして完了してください。

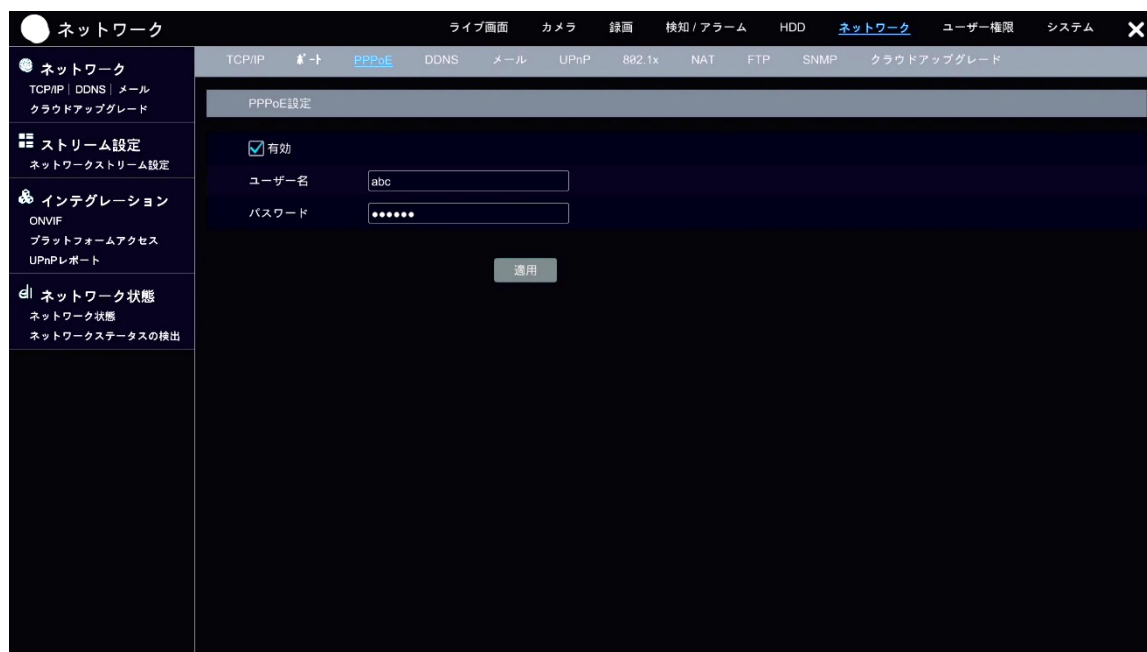


図 4-60

#### 4.5.1.4 DDNS

NVR との接続を簡単にするために DDNS を使用することができます。

使用する場合、有効チェックボックスをオンにします。

各入力項目に適宜入力を行い、**登録** ボタンを押して設定内容を登録、その後**適用**してください。

図 4-61

項目	説明	初期値
有効	DDNS を有効にします。	オフ
DDNS タイプ	DDNS のタイプを選択します。 設定値：www. autoddns. com, www. 88ip. com, www. meibu. com, www. dyndns. com, ww. no-ip. com, www. dvr dydns. com, MintDNS, www. 3322. org	www. autoddns. com
サーバーアドレス	サーバーアドレスを入力します。 選択中の DDNS タイプにより入力可否が変わります。入力 不可(不要)の場合、グレイアウトします。	－
ドメイン名	ドメイン名を入力します。 選択中の DDNS タイプにより入力可否が変わります。 例えば、DDNS タイプが「www. autoddns. com」の場合 「autoddns. com」以前のドメインを入力します。 入力不可(不要)の場合、グレイアウトします。	－
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 選択中の DDNS タイプにより入力可否が変わります。入力 不可(不要)の場合、グレイアウトします。	－
パスワード	ユーザー名に紐づくパスワードを入力します。	－

項目	説明	初期値
	選択中の DDNS タイプにより入力可否が変わります。入力不可(不要)の場合、グレーアウトします。	
ハートビート間隔	死活監視のためのハートビートを送信する間隔を設定します。秒単位で入力してください。 設定値：5～3600(秒)	－
接続状態	現在の DDNS 接続状況を表示します。	－

## 4.5.2 ストリーム設定

ここでは、データの送受信の際のストリームについて設定します。

### 4.5.2.1 ネットワークストリーム設定

ネットワーク上でデータをストリーミングする際の設定を行います。

設定変更後は、**適用**をクリックして完了してください。



図 4-62

項目	説明	初期値
カメラ名	ネットワークストリームを設定するカメラの名称を表示します。	—
ストリームタイプ	当該カメラで動画を送信する際のストリームタイプを表示します。	サブストリーム
エンコード	動画のエンコードタイプを設定します。 カメラがサポートしていない設定値は表示されません。 設定値：H. 264, H. 265, H. 265+	H. 264
解像度	動画の解像度を設定します。 設定値：704x480, 352x240	704x480
FPS	動画のフレームレートを設定します。 設定値：1～30	30
ビットレートタイプ	動画のビットレートタイプを設定します。 設定値：VBR, CBR	CBR
画質	動画の画質が表示されます。	—
ビットレート	動画のビットレートを設定します。 設定値：32Kbps, 64Kbps, 128Kbps, 256Kbps, 384Kbps,	1024Kbps


項目	説明	初期値
	512Kbps, 768Kbps, 1024Kbps	
ビットレート 推奨範囲	ビットレート設定における推奨値を表示します。	－
GOP	グループ・オブ・ピクチャーズ 動画で使用する G O P のフレーム数を設定します。 値を設定する際は、テキストボックスが表示され、手入力します。	60

### 4.5.3 ネットワーク状態

ここでは、NVR のネットワーク状態やステータスを確認します。

#### 4.5.3.1 ネットワーク状態

各属性のネットワーク状態を表示します。

この情報は、ライブ画面でネットワークステータスボタン(  )をクリックすることでも確認することができます。詳細は、 3.4 メニューバー をご参照ください。



ネットワーク	
ネットワークステータスの検出	
属性	値
イーサネットポート1	オフライン
IPv4 DHCP状態	無効
IPv4 アドレス	192.168.1.200
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	192.168.1.1
優先DNS	192.168.1.1
代替DNS	
IPv6 状態	無効
MACアドレス	08:0F:3A:A3:0E:6F
内部イーサネットポート	オンライン
IPv4 アドレス	10.1.1.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
PPPoE 状態	無効
ポート	
HTTPポート	80
HTTPSポート	443
サーバーポート	6036
RTSPポート	554
POS ポート	9036
合計回線容量	80Mb
リアルタイムの残りの帯域幅	79Mb

図 4-63

### 4.5.3.2 ネットワークステータスの検出

宛先アドレスのネットワークステータスを検出します。

テキストボックスに宛先アドレスを入力し、**テスト**をクリックしてください。

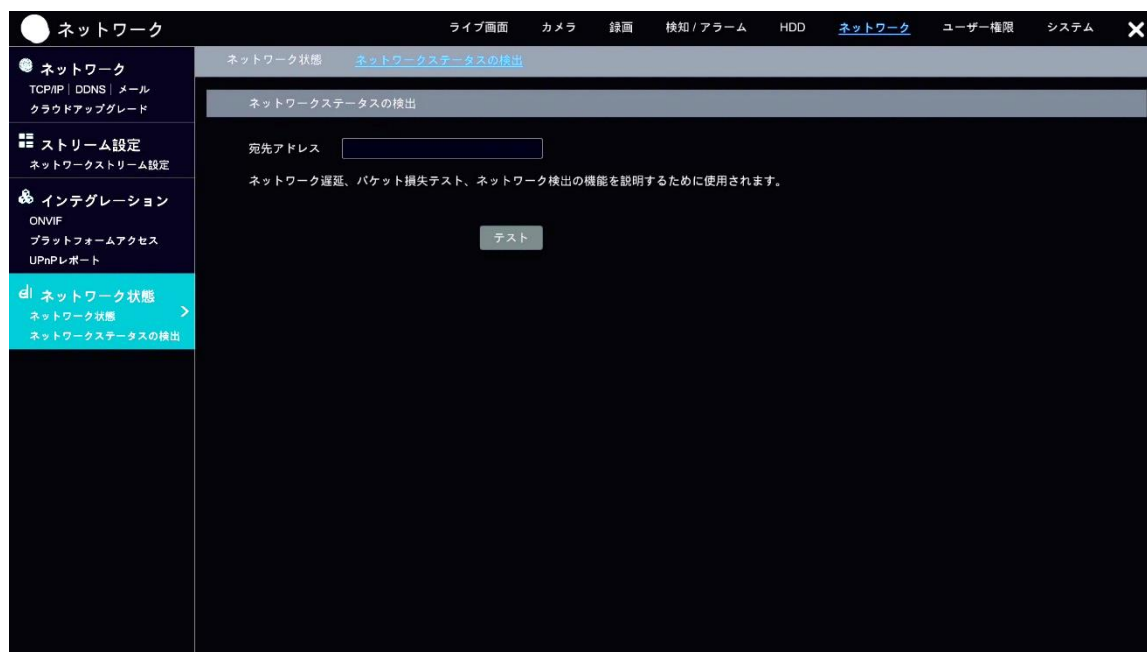



図 4-64

4.6 ユーザー権限

4.6.1 ユーザー

ここでは、ユーザーの追加やユーザーデータの編集、その権限について設定します。

4.6.1.1 ユーザー追加

メニューから「ユーザー追加」をクリック、または、後述のユーザー編集画面の右上をクリックすると、ユーザー追加ダイアログがポップアップします。

項目を入力し、**追加**をクリックするとユーザー情報が登録されます。

ユーザー追加

ユーザー名

ユーザー名入力

パスワード

パスワード入力

パスワード確認

パスワード入力

☐パスワード表示

☒パスワードの変更を許可する

パターンロック

☐有効

編集

メール

グループ

管理者

追加

キャンセル

図 4-65


項目	説明	初期値
ユーザー名	登録ユーザーの名称を入力します。	-
パスワード	登録ユーザーのパスワードを入力します。 パスワードのセキュリティレベルに合わせて、テキストボックス下部のバーが変化します。	-
パスワード確認	パスワードを確認するために、もう一度入力します。	-
パスワード表示	オンにすると、入力中のパスワードの伏字を解除します。	オフ
パスワードの変更を許可する	管理者権限によるパスワード変更を許可します。	オン
パターンロック	有効チェックボックスをオンにすると、 <b>編集</b> からパターンを編集できます。	オフ
メール	登録ユーザーのメールアドレスを入力します。 入力任意です。	-
グループ	ユーザーグループを設定します。 設定値：管理者, 詳細, 共通	管理者



#### 4.6.1.2 ユーザー編集

すでに登録されているユーザー情報を編集します。

エリア①にはユーザー権限、エリア②にはユーザーをリスト表示しています。

編集するユーザー情報をリストから選び、編集をクリック、またはリストの行をダブルクリックして表示されるメニューから「ユーザー編集」をクリックすることで、ダイアログがポップアップします。


なお、リストの削除をクリックすると、adminを除くユーザー情報を削除することができます。



図 4-66

#### ● ユーザー編集

各項目を編集後、**OK**をクリックして編集を完了します。

ユーザー編集

☒ 有効

ユーザー名 admin

☒ 権限制御閉じる

☒ パスワードの変更を許可する

メール

グループ 管理者

OK キャンセル

図 4-67

- パスワード変更

admin 権限を持つユーザーのみが他ユーザーのパスワードを変更できます。

現在のパスワード、新パスワード、パスワード確認を入力し、**OK**をクリックして変更します。

パスワード変更

現在のパスワード

新パスワード

パスワード確認

☐ パスワード表示

OK キャンセル

図 4-68

- パターンロック修正

パターンの変更の前に、現在のパスワードを入力し、パターンロック有効チェックボックスをオンにします。**編集**をクリックすると、パターンロック設定画面が表示されます。

パターンロック設定後、**OK**をクリックして完了します。



パターンロック修正

現在のパスワード

パターンロック ☐ 有効

編集

OK キャンセル

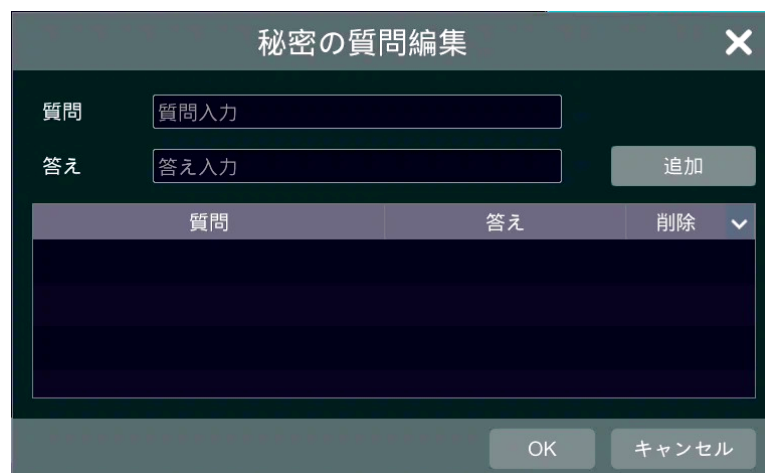
図 4-69

- 秘密の質問編集

admin 権限を持つユーザーのみが秘密の質問を編集できます。

秘密の質問の文面とその答えを入力し、**追加**をクリックすることで質問が登録されます。

すべての質問を編集したら、**OK**をクリックして完了します。



秘密の質問編集

質問 質問入力

答え 答え入力

追加

質問	答え	削除
----	----	----


OK キャンセル

図 4-70

#### 4.6.1.3 権限グループ編集


ユーザーに付加する権限グループの情報を編集します。

エリア①には現在のユーザー権限、エリア②には権限グループをリスト表示しています。

エリア②の右上をクリックすると、権限グループ追加ダイアログがポップアップします(図 4-72)。

また、既存の権限グループをリストから選び、編集をクリックすると、権限グループ編集ダイアログがポップアップします(図 4-73)。

それぞれ、グループに持たせる権限をチェックボックスで選択し、**追加**または**OK**をクリックして編集を完了します。

なお、権限グループ情報をコピーして別の権限グループとして追加する場合は、既存の権限グループの保存先をクリックしてポップアップする画面から編集することで、別の権限グループを作成できます。


リストの削除  をクリックすると、デフォルトの権限グループである管理者、詳細、共通を除き、ユーザーが新たに登録した権限グループを削除することができます。



图 4-71

権限グループ追加

グループ名

権限グループ名入力

設定

☐ ローカルカメラ
☐ リモートカメラ
☐ HDD
☐ 検知 / アラーム
☐ ネットワーク
☐ スケジュール
☐ 録画
☐ ローカルシステム
☐ リモートシステム
☐ サンプルデータベース
☐ ユーザー権限

機能

☐ リモートログイン
☐ 音声通話

ローカル

リモート

カメラ	プレビュー	検索と再生	検索とバックアップ	音声
4A05A24PAJ6ED4B	オフ	オフ	オフ	オフ
4B006CFPAJ0ED5C	オフ	オフ	オフ	オフ

説明

追加

キャンセル

図 4-72

権限グループ編集

グループ名

詳細

設定

☒ ローカルカメラ
☒ リモートカメラ
☐ HDD
☐ 検知 / アラーム
☐ ネットワーク
☐ スケジュール
☐ 録画
☒ ローカルシステム
☒ リモートシステム
☒ サンプルデータベース

機能

☒ リモートログイン
☒ 音声通話

ローカル

リモート

カメラ	プレビュー	検索と再生	検索とバックアップ	音声
4A05A24PAJ6ED4B	オン	オン	オン	オン
4B006CFPAJ0ED5C	オン	オン	オン	オン

説明

OK

キャンセル

図 4-73

## 4.6.2 セキュリティ

ここでは、端末の IP を使用したアクセスの制限など、セキュリティに関する設定を行います。

### 4.6.2.1 許可・不許可リスト

IP アドレスまたは MAC アドレスをリストに追加し、アクセスの許可・不許可を行います。

有効チェックボックスをオンにし、許可リストに追加する場合は「許可リスト有効」、不許可リストに追加する場合は「不許可リスト有効」を選択します。

画面下部「IP 追加」または「MAC 追加」のいずれかを選択すると、それぞれ追加用ダイアログがポップアップします(図 4-75、図 4-76)。IP 追加の場合は、IP セグメントの形式で追加することもできます。適宜選択してください。

各アドレスを入力後、「OK」をクリックして追加します。



図 4-74



図 4-75

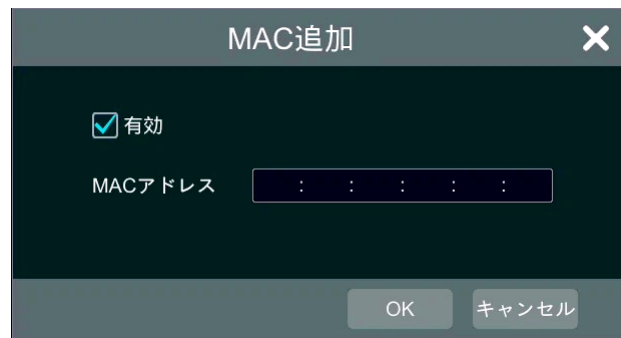


図 4-76

#### 4.6.2.2 ログアウト時プレビュー

ユーザーがログアウトしている状態でカメラ映像をプレビューするかを設定します。

リストからカメラを選択します。画面左部にカメラ映像が表示されますので、リスト内プレビュー欄または画面左部プルダウンメニューから、オンまたはオフに切り替えてください。

すべてのカメラの設定を終えたら、画面右下 **適用** をクリックして完了します。



図 4-77



### 4.6.2.3 ネットワークセキュリティ

ネットワークのゲートウェイと、ARP ガードについて設定します。

ARP ガードのチェックボックスをオンにすると、ARP ガードが有効になります。

ARP ガードは、アドレス解決プロトコルガードです。この機能は、APR 攻撃から LAN を保護し、ネットワークを安定的に動作させることができます。

この機能を有効にすると、ゲートウェイ MAC を自動または手動で設定することができます。また、必要に応じて検知防御も有効にすることも可能になります。



図 4-78

#### 4.6.2.4 パスワードセキュリティ

NVR で使用するパスワードの基準を設定します。

任意のセキュリティレベルに設定変更後、**適用**をクリックしてください。

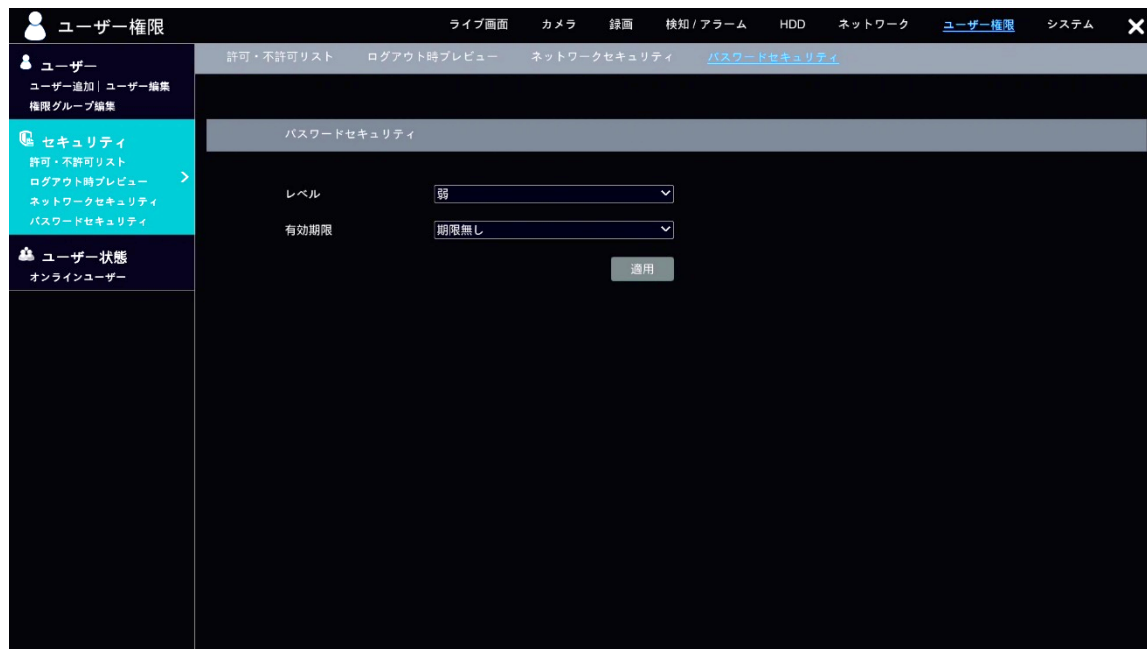


図 4-79

項目	説明	初期値
レベル	設定値：弱, 中, 強, 最強	弱
有効期限	設定値：期限無し, 30 日, 90 日, 180 日	期限無し

### 4.6.3 ユーザー状態

ここでは、主にユーザーのオンライン状態について確認します。

#### 4.6.3.1 オンラインユーザー

ログインしてオンラインになっているユーザー、またはユーザーが最後にオンラインになった日時などをリストから確認することができます。


また、任意のユーザーの詳細をクリックすると、当該ユーザーのプレビューユーザー数および再生ユーザー数が表示されます(図 4-81)。



図 4-80

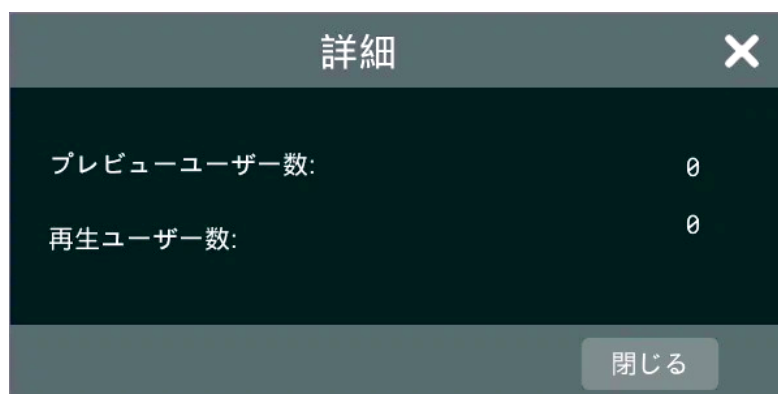


図 4-81

## 4.7 システム

### 4.7.1 一般

ここでは、NVR の一般的な設定を行います。

#### 4.7.1.1 一般設定

デバイス名やその映像に関する基本的な設定を行います。

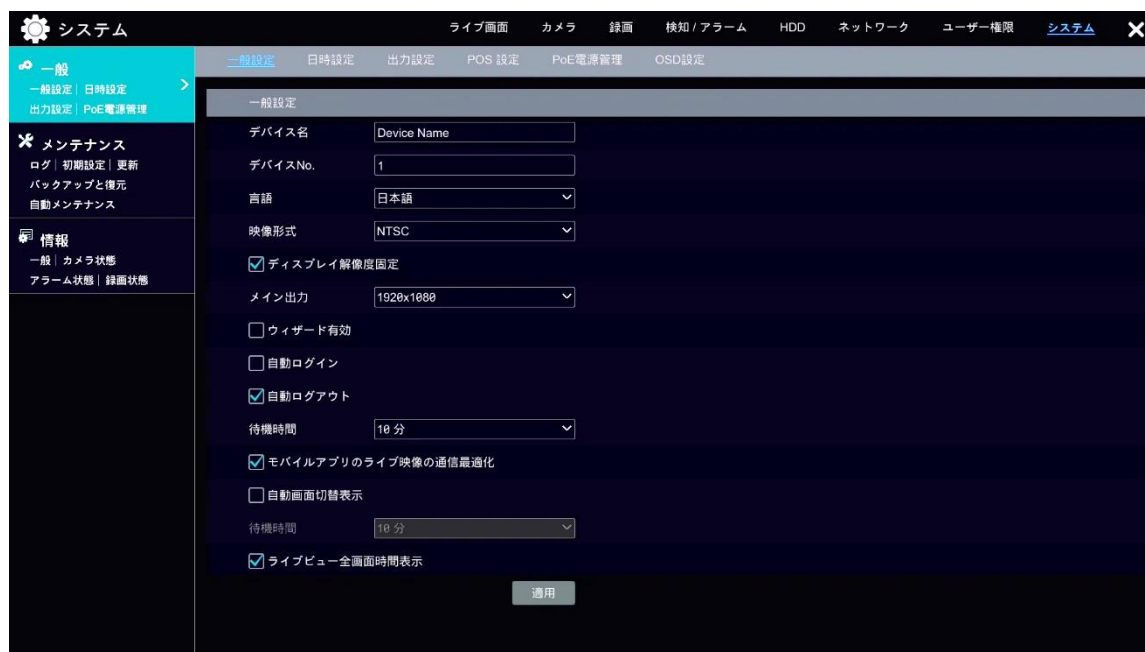


図 4-82

項目	説明	初期値
デバイス名	デバイス名を設定します。	－
デバイス No	デバイスに割り振る番号を設定します。	－
言語	デバイスで使用する言語を選択します。	日本語
カレンダーの形式	「言語」にて「ペルシア語」を選択した場合のみ表示されます。 設定値：西暦, イラン暦	イラン暦
映像形式	デバイスに合わせた映像形式を選択します。 設定値：NTSC, PAL	NTSC
ディスプレイ解像度固定	ディスプレイの解像度を固定します。 有効にすると「メイン出力」を設定することができます。	オン
メイン出力	「ディスプレイ解像度固定」がオンのときに設定できます。 メイン出力を設定します。 設定値：1024x768, 1280x1024, 1920x1080, 3840x2160 (30)	1920x1080
ウィザード有効	ウィザードを有効にします。	オフ
自動ログイン	デバイス使用時に自動ログインを行います。	オフ

項目	説明	初期値
自動ログアウト	デバイス不使用时に自動ログアウトを行います。 有効にすると「待機時間」を設定することができます。	オン
待機時間	「自動ログアウト」がオンのときに設定できます。 自動ログアウトまでの待機時間を設定します。 設定値：10 秒, 30 秒, 1 分, 2 分, 3 分, 5 分, 10 分	10 分
モバイルアプリの ライブ映像の 通信最適化	モバイルアプリ使用時のライブ映像を、通信状況により最適化します。	オン
自動画面切替表示	設定した時間内に操作が行われなかった場合、自動で画面を切り替えます。 有効にすると「待機時間」を設定することができます。	オフ
待機時間	「自動ログアウト」がオンのときに設定できます。 自動ログアウトまでの待機時間を設定します。 設定値：1 分, 3 分, 5 分, 10 分, 30 分	10 分
ライブビュー 全画面時間表示	ライブビューに時間を表示します。	オン

#### 4.7.1.2 日時設定

システム時間、タイムゾーンなど、日時に関する設定を行います。



図 4-83

項目	説明	初期値
日時設定		
システム時間	システムの日時を設定します。 テキストボックスまたは🕒をクリックすることで設定画面が開きます。	—
日付形式	日付の表示形式を設定します。 設定値：年/月/日, 月/日/年, 日/月/年	年/月/日
時間形式	時刻表示の形式を設定します。 設定値：24 時間, 12 時間	24 時間
ネットワーク同期設定		
同期	時刻同期のタイミングについて設定します。 設定値：NTP, 手動	手動
NTP サーバー	NTP を利用する際のサーバーを選択します。	time.windows.com
タイムゾーン/サマータイム		
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。 設定値：GMT-12～GMT+13	GMT+09
サマータイム	サマータイムを有効にします。	オフ

### 4.7.1.3 出力設定

メインインターフェースのレイアウト等の設定を行います。

ここで設定した内容は、3.5 カメラ映像表示 で利用できます。詳細は、当該ページをご参照ください。

- 分割画面

画面左の $\oplus$ をクリックして分割画面設定を新規作成します。

画面下から画面の分割を選択します。

画面右のカメラリストから、各分割画面にカメラ名をドラッグアンドドロップすることで、分割ごとにカメラ映像を紐づけることができます。

この画面設定を削除する場合は、 $\otimes$ ボタンか $\boxtimes$ をクリックすることで削除できます。



図 4-84

- カメラグループ

画面右から「カメラグループのループ表示」をクリックします。

$\oplus$  ボタンをクリックして表示されるダイアログから、カメラループの内容を設定します(図 4-85)。

すでに作成済みのカメラループは、 $\leftarrow$  ボタンで名前と切り替え時間の設定(図 4-86)、 $\boxtimes$  ボタンで削除ができます。



図 4-85



図 4-86



#### 4.7.1.4 POS 設定

POS との接続設定、ディスプレイ設定を行います。



図 4-87

### 接続の設定

POS IP

☐ POS ポート

POS ポート

OK

キャンセル

図 4-88



図 4-89



図 4-90

項目	説明	初期値
POS	POS の名称を表示します。	-
有効	当該 POS を有効にします。	オフ
接続	POS との接続方法を選択します。 設定値：TCP サーバー, TCP クライアント,	TCP サーバー

項目	説明	初期値
	UDP, マルチキャスト	
接続の設定	<p><b>設定</b> をクリックすると、接続の設定ダイアログがポップアップします(図 4-88)。</p> <p>POS IP、必要に応じて POS ポートを設定して <b>OK</b> をクリックしてください。</p>	-
プロトコル	<p>プロトコルを設定します。</p> <p>設定値：コモン, OPTIMA, Hayley, SAM4S, AVE, Arch, Casio</p>	コモン
検知カメラ	<p>カメラを検知カメラとして設定します。</p> <p>機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。</p> <p>「検知カメラ」がポップアップしますので(図 4-89)、動体検知による録画を行うカメラを左側カメラリストから選択し、<b>&gt;&gt;</b> をクリックして右側検知カメラリストへ移動して設定します。</p> <p>設定後 <b>OK</b> をクリックして完了してください。</p>	オフ
ディスプレイ設定	<p><b>設定</b> をクリックすることで、ディスプレイ設定画面がポップアップします(図 4-90)。</p> <p>「一般設定」「ディスプレイ」「ディスプレイモード」をそれぞれ設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般設定 開始文字および終了文字、改行文字、無視する文字、タイムアウトを設定します。</li> <li>● ディスプレイ ディスプレイのサイズをドラッグして設定します。</li> <li>● ディスプレイモード OSD など字幕の色、印刷方法を設定します。</li> </ul>	-
エンコードフォーマット	<p>エンコードフォーマットを設定します。</p> <p>設定値：utf-8, iso-8859-2, windows-1250</p>	utf-8

#### 4.7.1.5 PoE 電源管理

PoE 電源の状態、および有効/無効を管理します。

各 PoE がリストに表示されます。必要に応じて、当該ポートのオン/オフ切り替え、現在の電源の様子を確認してください。

設定後、**適用**をクリックして完了します。

The screenshot shows a web-based system settings interface. The top navigation bar includes 'システム' (System) and various other settings like 'ライブ画面', 'カメラ', '録画', '検知 / アラーム', 'HDD', 'ネットワーク', 'ユーザー権限', and 'システム' (with a close button). The left sidebar has a 'システム' section with '一般' (General) selected, showing '一般設定 | 日時設定' and '出力設定 | PoE電源管理'. Below this are 'メンテナンス' (Maintenance) and '情報' (Information) sections. The main content area is titled 'PoE電源管理' and contains a table with three columns: 'PoEポート' (PoE Port), '有効' (Enabled), and '現在の電源' (Current Power). The table lists ports Poe[01] through Poe[08], all of which are 'オン' (On) and show their current power consumption. At the bottom of the table, it displays '総計電力: 96.00W, 残る電力: 92.59W' and an '適用' (Apply) button.

PoEポート	有効	現在の電源
Poe[01]	オン	3.41W
Poe[02]	オン	0.00W
Poe[03]	オン	0.00W
Poe[04]	オン	0.00W
Poe[05]	オン	0.00W
Poe[06]	オン	0.00W
Poe[07]	オン	0.00W
Poe[08]	オン	0.00W

総計電力: 96.00W, 残る電力: 92.59W

適用

図 4-91

#### 4.7.1.6 OSD 設定

OSD における、名前とアイコンの有効/無効を設定します。

各プルダウンメニューから設定し、最後に画面右下 **適用** をクリックしてください。



図 4-92

## 4.7.2 メンテナンス

ここでは、ログや初期化、バックアップとその復元など、NVR のメンテナンスを行います。

### 4.7.2.1 ログ

NVR に記録されたログを確認します。

膨大なログから特定のログを検索するには、まず検索するログの種類をエリア①から選択します。次に、エリア②でログを検索する開始時間と終了時間の範囲を設定します。設定後に「検索」をクリックするとリストに検索結果が表示されます。

なお、「出力」をクリックすることでログ出力ダイアログをポップアップさせ、特定のデバイスにログを出力することができます(図 4-94)。

① 種類 全て アラーム 操作 設定 異常

② 開始時間 2022/10/02 08:00:00 終了時間 2022/10/04 23:59:59 検索 出力

No.	種類	ログ時間	内容	詳細	再生
1	アラーム	2022/10/04 14:10:13	動体検知アラーム	IPDPT250	再生
2	操作	2022/10/04 13:45:31	ローカル手動録画	手動録画停止。操作カメラは、"...	再生
3	操作	2022/10/04 13:45:27	ローカル手動録画	手動録画を開始します。オペレ...	再生
4	操作	2022/10/04 13:44:57	ローカルログイン/ログアウト	ログイン	再生
5	操作	2022/10/04 13:44:45	ローカルログイン/ログアウト	ログアウト	再生
6	操作	2022/10/04 13:44:43	ローカルログイン/ログアウト	ログイン	再生
7	操作	2022/10/04 13:44:35	ローカルログイン/ログアウト	ログアウト	再生
8	操作	2022/10/04 13:44:09	ローカル検索/再生/バックアップ	録画再生。操作カメラは、"IPD...	再生
9	操作	2022/10/04 13:44:05	ローカル検索/再生/バックアップ	録画再生。操作カメラは、"IPD...	再生
10	操作	2022/10/04 13:43:56	ローカル検索/再生/バックアップ	録画再生。操作カメラは、"IPD...	再生
11	操作	2022/10/04 13:36:52	ローカル音声通話	放送停止	再生
12	操作	2022/10/04 13:36:26	ローカル手動録画	手動録画停止。操作カメラは、"...	再生
13	操作	2022/10/04 13:36:23	ローカル手動録画	手動録画を開始します。オペレ...	再生
14	操作	2022/10/04 13:35:52	ローカル手動録画	手動録画停止。操作カメラは、"...	再生
15	操作	2022/10/04 13:35:48	ローカル手動録画	手動録画を開始します。オペレ...	再生
16	操作	2022/10/04 13:35:21	ローカルログイン/ログアウト	ログイン	再生
17	操作	2022/10/04 13:34:57	ローカルログイン/ログアウト	ログアウト	再生

現ページ: 1 / 1, 全38

図 4-93



図 4-94





図 4-95



図 4-96

項目	説明	初期値
No.	ログの番号を表示します。	—
種類	ログの種類を表示します。 エリア①では、この項目を使って絞り込みを行います。	—
ログ時間	ログの発生時間を表示します。 エリア②では、この項目を使って絞り込みを行います。	—
内容	<p>ログの内容を表示します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>をクリックすると、内容に応じてログを絞り込むことができます。</p> <p><b>※一部設定値はサポート対象外の場合があります。</b></p> <p>設定値：動体検知アラーム, センサーアラーム, スマート検知アラーム, ナンバープレート比較アラート, アラーム出力, 複合アラーム, 検索/再生/バックアップ, 手動録画, 手動アラーム, メンテナンス, PTZ 制御, 音声通話, 起動とシャットダウン, ログイン/ログアウト, 写真, HDD 初期化, HDD 挿入, ナンバープレートデータベース, NAT, カメラ設定値, 録画設定値, アラーム設定値, HDD 設定値, ネットワーク設定値, スケジュール設定値, ユーザー設定値, 一般, 不法アクセス, HDD フル, HDD I/O エラー, HDD 無し, RAID 降格, RAID 無効, IP アドレス競合, ネットワーク切断, IP カメラオフライン, 異常終了, HDD 喪失, RTC 例外, NAT ネットワークトラバース,</p>	—



項目	説明	初期値
	アラームサーバーオフライン, アップグレードの例外	
詳細	<p>ログの詳細を表示します。</p> <p>をクリックすると、ログ詳細ダイアログがポップアップします(図 4-95)。</p>	-
再生	<p>が表示されている場合、クリックすると再生画面がポップアップし、ログ発生時の録画を確認することができます(図 4-96)。</p>	-

#### 4.7.2.2 初期設定

NVR の初期設定値を復元する初期化、または工場出荷時の状態へ初期化します。  
項目および注意事項をよくお読みになった上で、必要に応じて実行してください。



図 4-97

### 4.7.2.3 更新

更新データを保存したデバイスを用いて、NVR を更新することができます。

デバイス名プルダウンメニューから任意のデバイスを選択します。デバイスが読み込まれない場合は「再読込」のクリックをお試しください。

リストに表示された更新データから必要なデータを選択し、「更新」をクリックします。

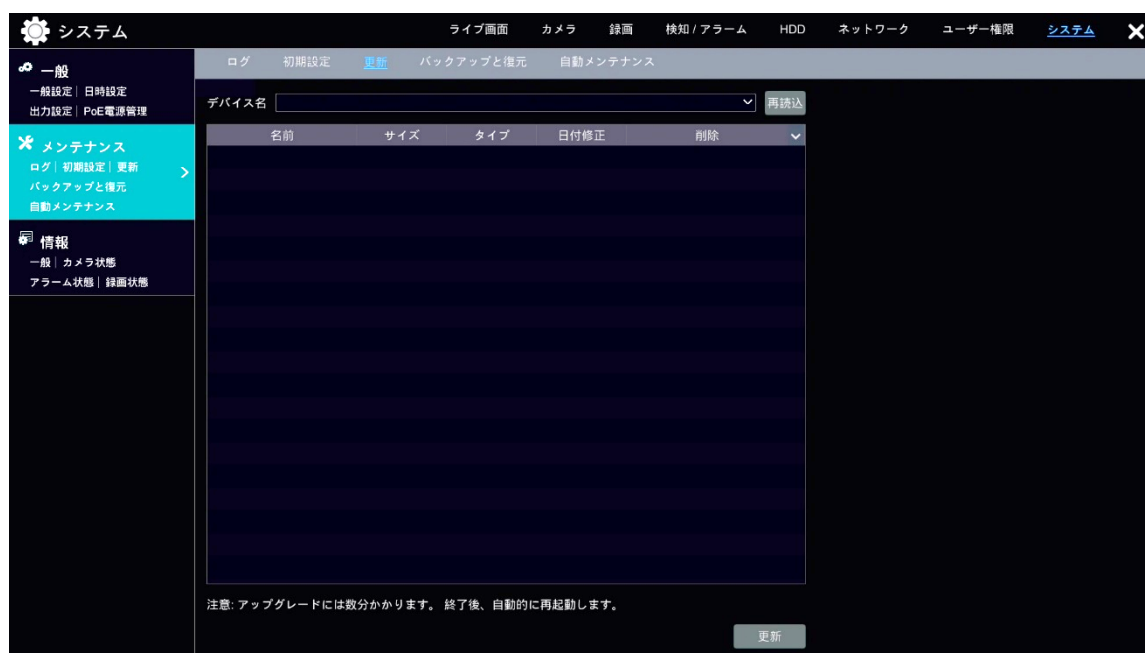


図 4-98

#### 4.7.2.4 バックアップと復元

バックアップデータを保存したデバイスからバックアップデータを読み込む、またはバックアップデータを作成してデバイスに保存することができます。

デバイス名プルダウンメニューから任意のデバイスを選択します。デバイスが読み込まれない場合は **再読み込み** のクリックをお試しください。

リストに表示されたバックアップデータから必要なデータを選択し、 **復元** または **バックアップ** をクリックします。



図 4-99

#### 4.7.2.5 自動メンテナンス

定められた時間間隔で、NVR が自動的に再起動します。

有効チェックボックスをオンにして「日付間隔」、「時間」を設定し、**適用**をクリックして機能を使用します。



図 4-100

### 4.7.3 情報

ここでは、NVR やその他接続されている媒体等の情報を確認します。

#### 4.7.3.1 一般

NVR の一般情報を確認することができます。

**ビュー** をクリックするとデバイス情報がポップアップします。

また、任意のセキュリティコードに変更することができます。セキュリティコードを変更する際には、管理者権限認証が発生しますので、管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。



図 4-101

### 4.7.3.2 カメラ状態

現在、NVR に接続されているカメラの情報を確認することができます。



システム		ライブ画面   カメラ   録画   検知 / アラーム   HDD   ネットワーク   ユーザー権限   システム				
一般		一般	カメラ状態	アラーム状態	録画状態	ネットワーク状態   HDD状態
メンテナンス						
情報						
		カメラ名	状態	動体検知	スマート検知	録画
		IPDPT250	オンライン	アラーム無し	--	録画

図 4-102

### 4.7.3.3 アラーム状態

現在のアラーム情報を確認することができます。

当該項目においてアラームがないとき、●正常と表示され、アラーム発生時は①異常と表示されます。赤丸内の数字は、発生中のアラーム数です。

アラーム発生中の項目にて▼をクリックすると、アラームの詳細が表示されます(図 4-104)。同項目でアラームが複数発生しているとき、詳細欄の< ① >からページ送りをすることができます。



図 4-103



図 4-104



#### 4.7.3.4 録画状態

接続されているカメラの録画設定を確認できます。

## システム

- ⚙️ 一般  
一般設定 | 日時設定  
出力設定 | PoE電源管理
- ✖ メンテナンス  
ログ | 初期設定 | 更新  
バックアップと復元  
自動メンテナンス
- ℹ️ 情報  
一般 | カメラ状態  
アラーム状態 | 録画状態

ライブ画面    カメラ    録画    検知 / アラーム    HDD    ネットワーク    ユーザー権限    [システム](#)

一般
カメラ状態
アラーム状態
録画状態
ネットワーク状態
HDD状態

カメラ名	状態	ストリームタイプ	FPS	ビットレートタイプ	画質	ビットレート	解像度	録画タイプ
IPDPT250	録画	メインス...	30	CBR	--	2138 / 2048 Kbps	1920x1080	スケジュール
IPDPT250	録画	サブスト...	30	CBR	--	1016 / 1024 Kbps	704x480	スケジュール

图 4-105

### 4.7.3.5 ネットワーク状態

接続しているネットワークの各属性の状態を確認できます。



属性	値
イーサネットポート1	オフライン
IPv4 DHCP状態	無効
IPv4 アドレス	192.168.1.200
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	192.168.1.1
優先DNS	192.168.1.1
代替DNS	
IPv6 状態	無効
MACアドレス	08:0F:3A:A3:0E:5F
内部イーサネットポート	オンライン
IPv4 アドレス	10.1.1.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
PPPoE 状態	無効
ポート	
HTTPポート	80
HTTPSポート	443
サーバーポート	6036
RTSPポート	554
POS ポート	9036
合計回線容量	80Mb
リアルタイムの残りの帯域幅	79Mb

図 4-106

### 4.7.3.6 HDD 状態

NVR に接続されている HDD の状態を確認できます。



The screenshot displays the 'システム' (System) management interface. The top navigation bar includes 'ライブ画面', 'カメラ', '録画', '検知 / アラーム', 'HDD', 'ネットワーク', 'ユーザー権限', and 'システム'. The left sidebar contains '一般' (General), 'メンテナンス' (Maintenance), and '情報' (Information). The main content area is titled 'HDD 状態' and features a table with the following data:

HDD	タイプ	空き容量/総容量(GB)	状態	ソース	グループ	録画期間
HDD1	オーディナリ...	0/3726	RW(暗号化なし)	ローカル	1	2022/05/04-2022/10/04

図 4-107

## 5 デバイスマaintenance

### 5.1 システム情報

システム情報を確認するには、**スタート** → **設定** → **システム** → **情報** → **一般** と遷移してください。

ここで、デバイス名、デバイス No、型番、映像形式について確認することができます。

さらに詳細なシステム情報を確認するためには、**ビュー**をクリックしてください(図 5-1)。システム情報ダイアログがポップアップします(図 5-2)。



図 5-1



図 5-2

## 5.2 アップグレード

- 機器がインターネットに接続されている場合

クラウドを用いたアップグレードをお試しいただけます。

スタート → 設定 → ネットワーク → ネットワーク → クラウドアップグレード と遷移してください。

表示された現行バージョン名の確認や「アップグレードを確認」をクリックするなどして、最新バージョンが提供されていないか確かめた上で、必要に応じてアップグレードしてください。アップグレードを実行する際は「適用」をクリックします。

クラウドを使用しないアップグレードは後述の「機器がインターネットに接続されていない場合」をご参照ください。

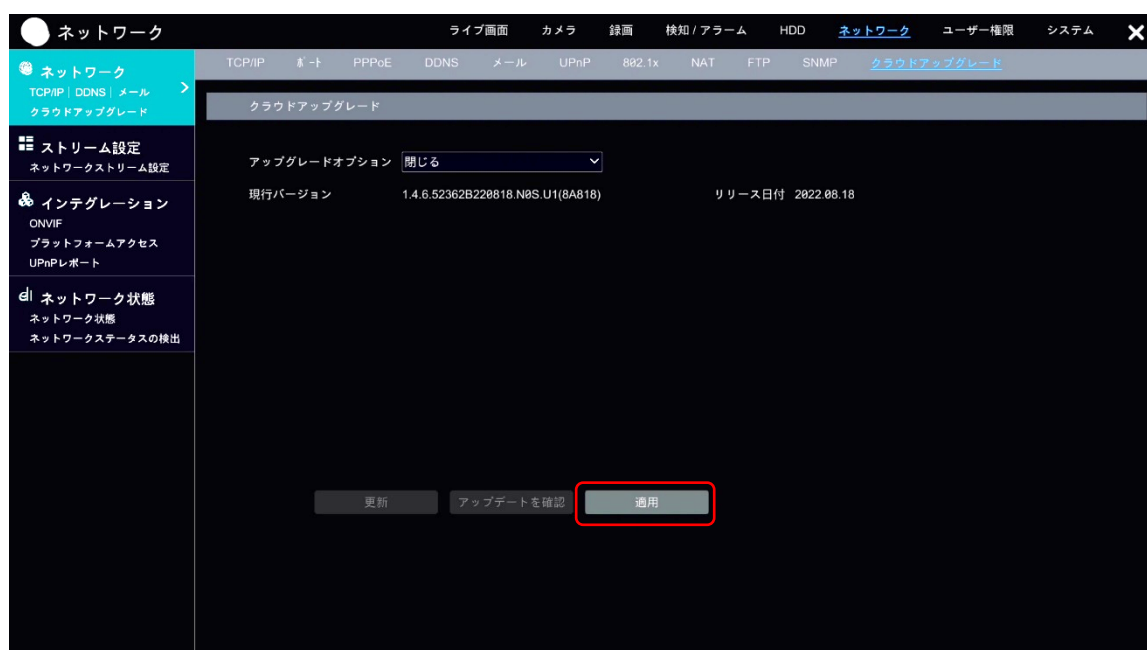


図 5-3

- 機器がインターネットに接続されていない場合

スタート → 設定 → システム → メンテナンス → 更新 と遷移してください。

アップデートファイルを保存したデバイスをドロップダウンリストから選択し、リストからアップデートファイルを指定します。「更新」ボタンをクリックし、アップデートを開始してください。

デバイスが認識されないときは、「再読込」のクリックをお試しください。

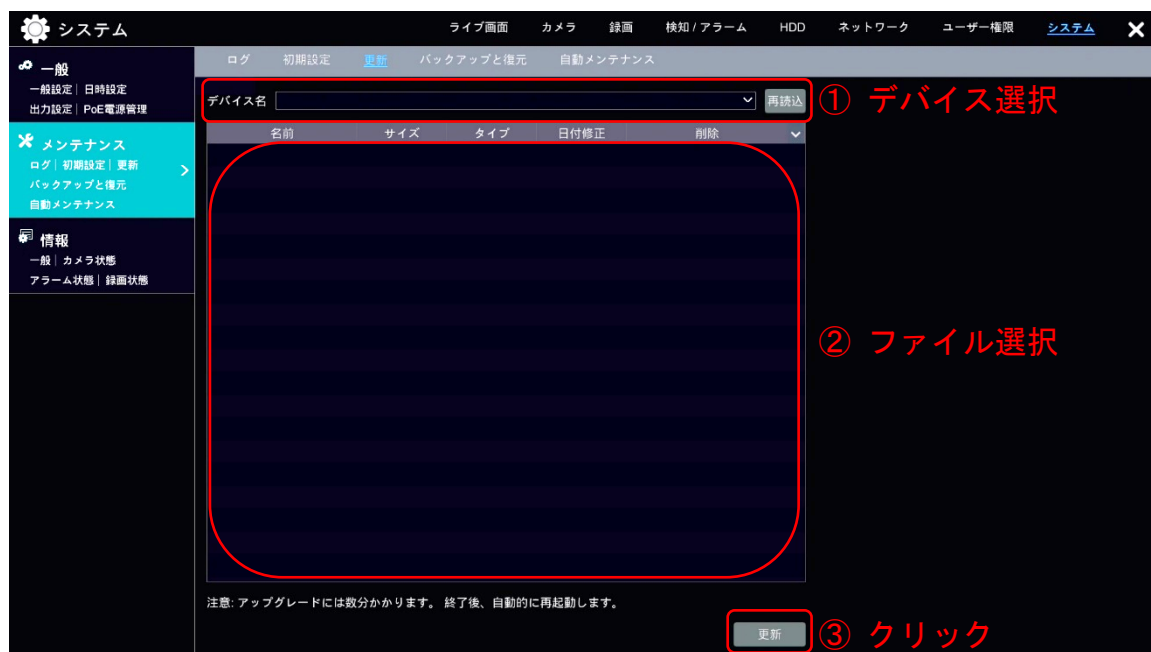


図 5-4

### 5.3 初期化

スタート → 設定 → システム → メンテナンス → 初期設定 と遷移してください。

自身で設定した値をすべて初期化、あるいはネットワーク情報以外を初期化するには、該当するラジオボタンを選択して 初期化を実行する をクリックします。

工場出荷時の状態へ戻す場合は 工場出荷時へ復元する をクリックします。

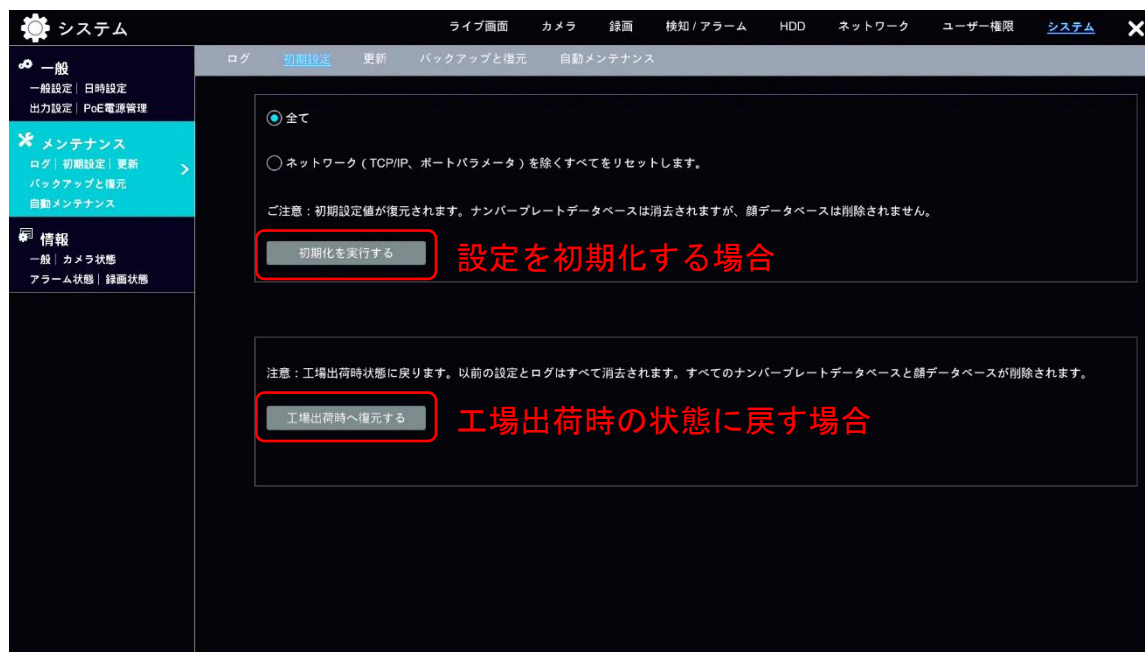


図 5-5

5.4 ログアウト/終了/再起動

スタート → 終了 の操作を行うと、終了画面が表示されます。  
ログアウト を選択して、直接ログアウトすることも可能です。



図 5-6

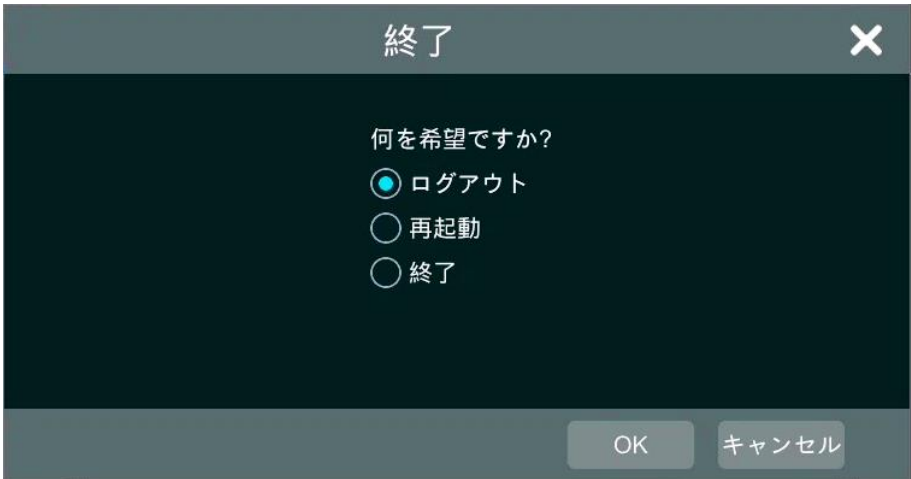




図 5-7

項目	説明
 ログアウト	システムからログアウトします。 次回のログイン時、パスワードの入力を求められます。
 終了	シャットダウン用ウインドウ(図 5-7)が表示されます。 ログアウト/再起動/シャットダウン から選択できます。





本社：

〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16

TEL (03)5700-1111(大代)

<http://www.ikegami.co.jp>

営業本部	〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16 本社ビル	☎(03)5748-2211(代)
大阪支店	〒564-0052 吹田市広芝町 9-6 第1江坂池上ビル	☎(06)6389-2833(代)
名古屋支店	〒465-0051 名古屋市名東区杜が丘 1-1506 加藤第2ビル	☎(052)705-6521(代)
札幌営業所	〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目 5-2 札幌泉第2ビル	☎(011)231-8218(代)
仙台営業所	〒983-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西 1-14 富士フイルム仙台ビル	☎(022)292-2420(代)
福岡営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-7-10 STビル	☎(092)451-2521(代)